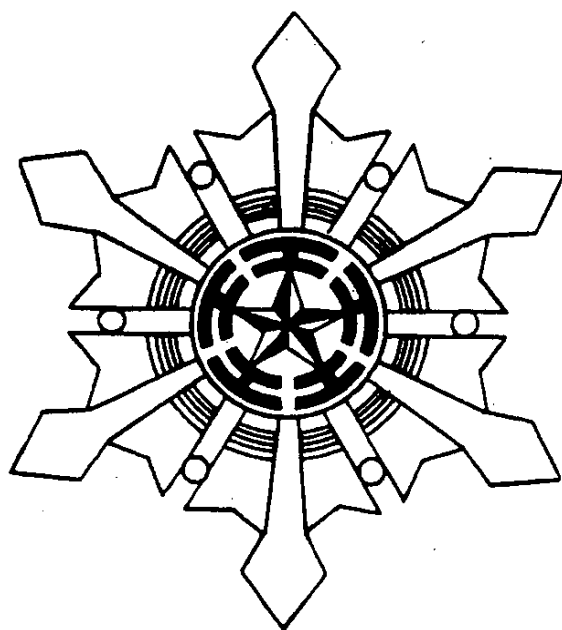


# 消防年報

平成24年版



江別市消防本部

## 市 章

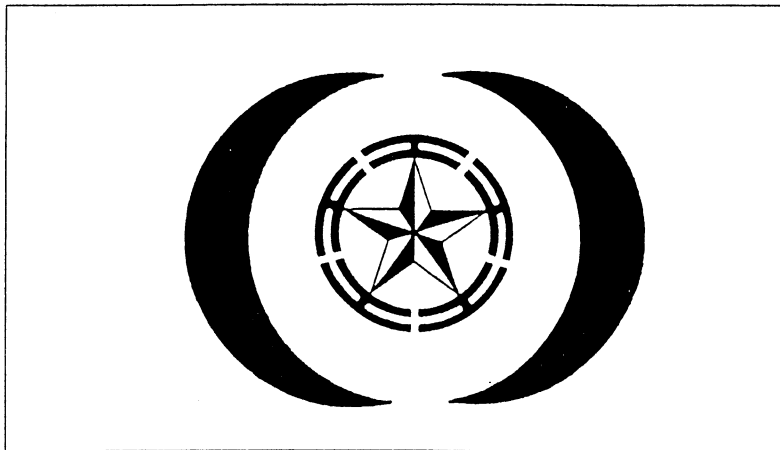


中央の星は、江別開拓の礎となった屯田兵をあらわし、これを囲む円は月をかたちどり、朝に星をいただき出て、夕べに月を仰いで帰る、勤労の精神を意味しています。

また、周囲のエは江別の頭文字であり、市民の一致協和をあらわしています。

市 章 制 定 大正13年10月24日

## 市 旗



市の紋章は、先人の伝統を意味し、これを囲む模様は、市民を意味するとともに、紋章を囲む円の広がり、未来に向かって飛躍する無限性をあらわしています。

市 旗 制 定 昭和43年5月25日

---

---

## は し が き

この年報は、平成24年中の江別市の災害、救急及び消防諸般の現勢を明らかにし、将来の消防体制の強化と火災予防活動上の参考として収録したものであります。

平成25年3月

江別市消防本部

---

---

# 目 次

## \* 庶 務 編

市勢概要	1
署所配置図	2
消防現勢総括表	3
平成24年度経常・臨時別分析表	4
平成24年度当初消防費予算（歳出）	4
消防本部（署）の組織と機構	5
消防庁舎の概要	5
消防職員配置状況	6
消防職員階級別年齢表	6
消防職員階級別勤続年数表	6
消防吏員免許資格取得状況	7
消防職員教育状況	8

## \* 予 防 編

危険物施設状況	9
危険物施設の許可・承認状況	9
建築物確認申請消防同意処理状況	10
政令対象物施設状況・防火管理者選任状況	11
階層別・業態別棟数表	12
各種届出状況	13
民間防火組織等状況	14
火災予防各種行事实施状況	15

## \* 警 防 編

高機能消防指令センターシステム構成図	16
消防自動車等の現勢	17
消防水利設置状況	18
市街地・準市街地等における消防水利の設置状況	18
主な消防用資器材等保有状況	19

## \* 災害等総括編

月別災害等受付件数	20
過去3ヶ年災害受付状況	20
火災、救助、警戒等出動及び救急出場件数	21
過去5ヶ年災害等発生及び出動状況	21
月別警戒等出動状況	22
地区別警戒等出動状況	22
月別救急支援出動状況	23
地区別救急支援出動状況	23
北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況	24
航空隊応援要請状況	24

## **\*火 災 編**

火災発生状況	2 5
月別火災発生状況	2 6
図 1 月別火災出火数	2 7
図 2 出火原因別件数と火災損害額	2 7
過去 3 ヶ年原因別火災発生状況	2 8
用途別火災原因調査	2 9
火災覚知別状況	3 0
曜日別・出火時間火災状況	3 0

## **\*救 助 編**

月別救助出動状況	3 1
過去 5 ヶ年救助出動状況	3 1
地区別救助出動状況	3 2
発生場所別救助出動状況	3 2

## **\*救 急 編**

救急活動	3 3
月別救急出場状況	3 3
過去 5 ヶ年救急出場状況	3 3
曜日別救急出場状況	3 4
時間別救急出場状況	3 4
地区別救急出場状況	3 5
高速自動車道救急出場状況	3 5
年齢別救急搬送人員調	3 6
年齢別傷病程度別搬送人員調	3 6
医療機関別傷病者搬送状況	3 6
救急隊員の行った応急処置件数	3 7
応急手当普及講習会の開催状況	3 8

## **\*消 防 団 編**

消防団員数	3 9
消防団員階級別勤続年数表	3 9
消防団員階級別年齢表	4 0
消防団員出動状況	4 0

## **\*消防の沿革**

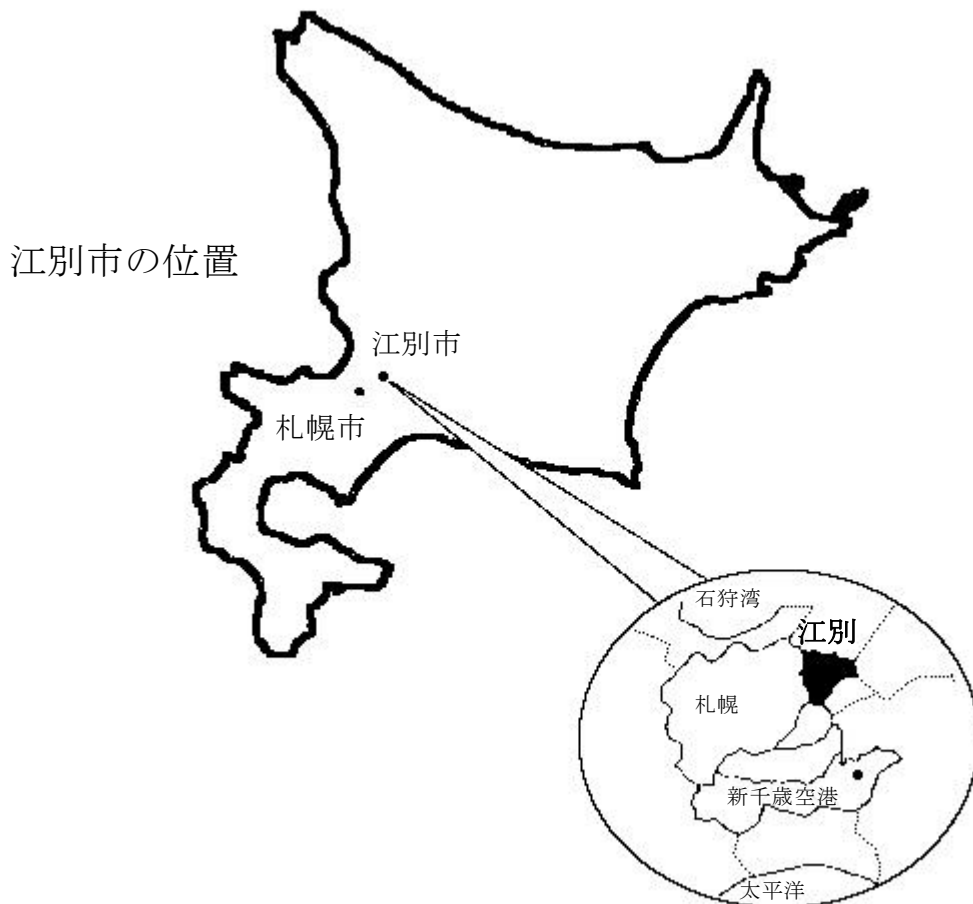
江別消防のあゆみと主な災害等	4 1 ~ 5 3
----------------	-----------

# 編 務 庶



消 防 本 部 庁 舎

# 市 勢 概 要



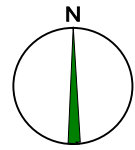
江別市は、石狩平野の中央部に位置し、東西約 17.3k m、南北 18.1km、総面積は 187.57k m<sup>2</sup>を有しています。地形は南端部の標高 93.0mが最高で、最低の湿地帯は北東 2.5mと全般的に平坦な地勢を形成しています。主流石狩川が市の北東部から北西部へと市域を貫流し、各支流河川と合流しています。南西の高台から北に連なる一連の火山灰埴土地帯は、肥沃な水田酪農地帯から市街地形成が進み、人口の集積地域として著しい発展を示しております。

- ◆ 位 置 (極東) 東経 141° 40' 20" (極西) 東経 141° 26' 52"  
(極南) 北緯 43° 00' 52" (極北) 北緯 43° 10' 13"
- ◆ 面 積 187.57k m<sup>2</sup>
- ◆ 人 口 121,391人 (住民基本台帳人口) 平成25年1月1日現在  
男57,893人 女63,498人
- ◆ 世 帯 数 54,629世帯
- ◆ 気 象 (平成24年)  
平均気温 7.9℃ 最高気温 32.5℃ 最低気温 -18.0℃  
総降水量 910.5mm  
平均風速 3.2m/秒 最大風速 13.2m/秒

- ◆ インターネットホームページ  
江別市のホームページ (<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>) から江別の消防のページへお入りください。

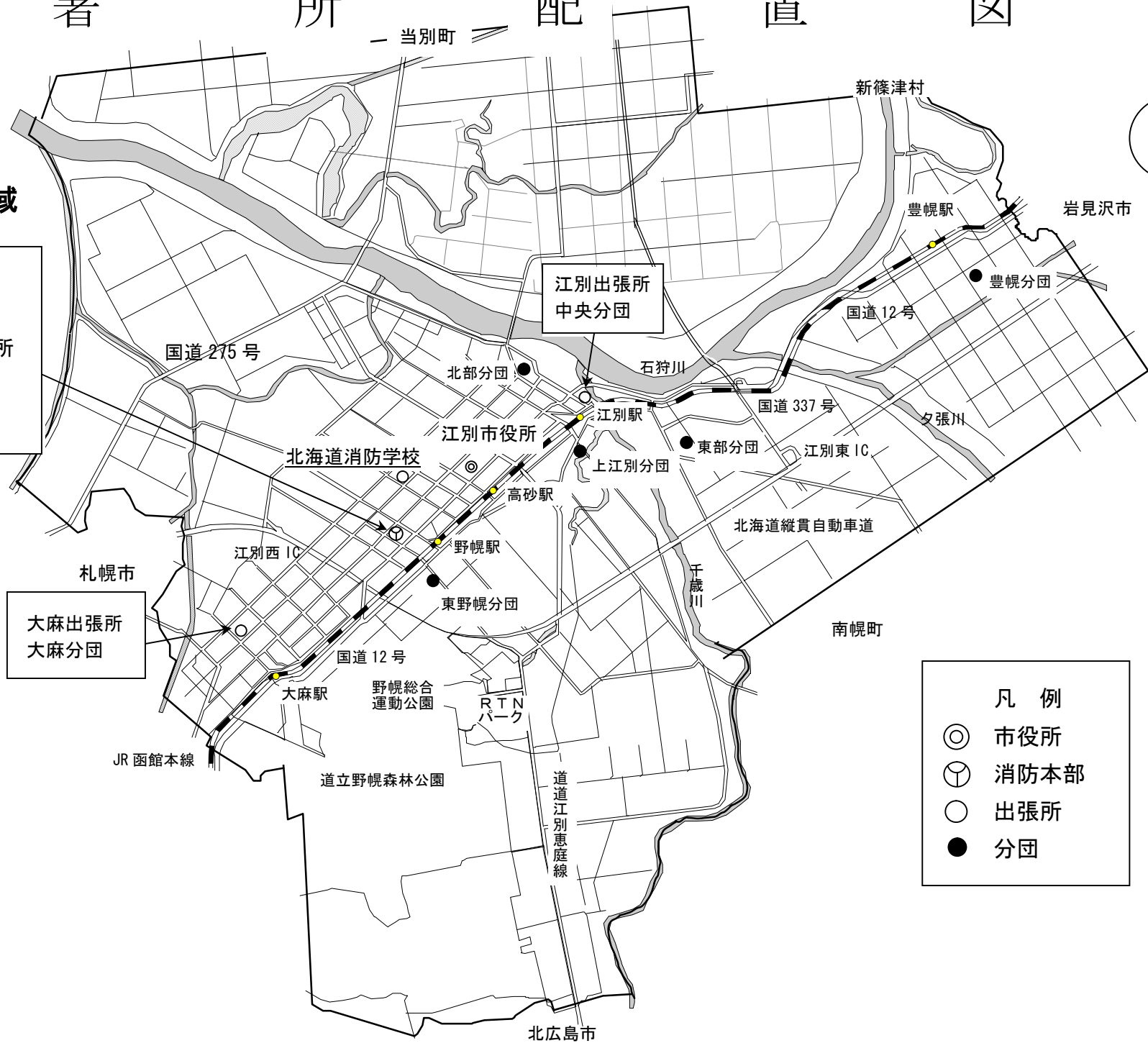
# 署 所 配 置 図

— 当別町 —



市 域

消防本部  
消防署  
野幌出張所  
団本部  
野幌分団



札幌市  
大麻出張所  
大麻分団

凡 例  
 ◎ 市役所  
 ⊙ 消防本部  
 ○ 出張所  
 ● 分団



## 消 防 現 勢 総 括 表

消 防 本 部		1 本 部	消 防 団	1 団	
消 防 署		1 署	分 団 数	8 分 団	
出 張 所		3 出 張 所	消 防 団 員	定 数	2 0 0 人
当 初 予 算	一 般 会 計	3 9, 2 4 0, 0 0 0 千 円		実 員 数	1 8 6 人
	消 防 費	1, 3 1 7, 6 4 4 千 円	ポ ン プ 車	6 台	
	比 率	3. 4 %	非 常 備 消 防 車 両	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	2 台
消 防 職 員	警 防 要 員	8 1 人		小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	1 台
	救 急 要 員	2 3 人	小 型 動 力 ポ ン プ	9 台	
	予 防 要 員	1 2 人	消 防 水 利	消 火 栓	8 5 4 基
	小 計	1 1 6 人		防 火 水 槽	1 4 5 基
	そ の 他 の 要 員	1 3 人	※ 自衛消防隊の車両については非常備消防車両に含めた。		
	合 計 (実 員 数)	1 2 9 人			
定 数	1 3 0 人				
常 備 消 防 車 両	ポ 自 動 水 槽 車	4 台			
	は し ご 自 動 車	1 台			
	化 学 自 動 車	1 台			
	救 急 自 動 車	4 台			
	指 揮 車	1 台			
	大 型 水 槽 車	1 台			
	災 害 情 報 支 援 車	2 台			
	救 助 工 作 車	1 台			
	広 報 車	1 台			
	災 害 支 援 車	1 台			
連 絡 車	2 台				
小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	2 台				

平成24年度 経常・臨時別分析表

(単位：千円)

予算総額	経常経費			臨時経費		
	予算額	特定財源	一般財源	予算額	特定財源	一般財源
1,317,644	1,080,001	5,495	1,074,506	237,643	177,400	60,243

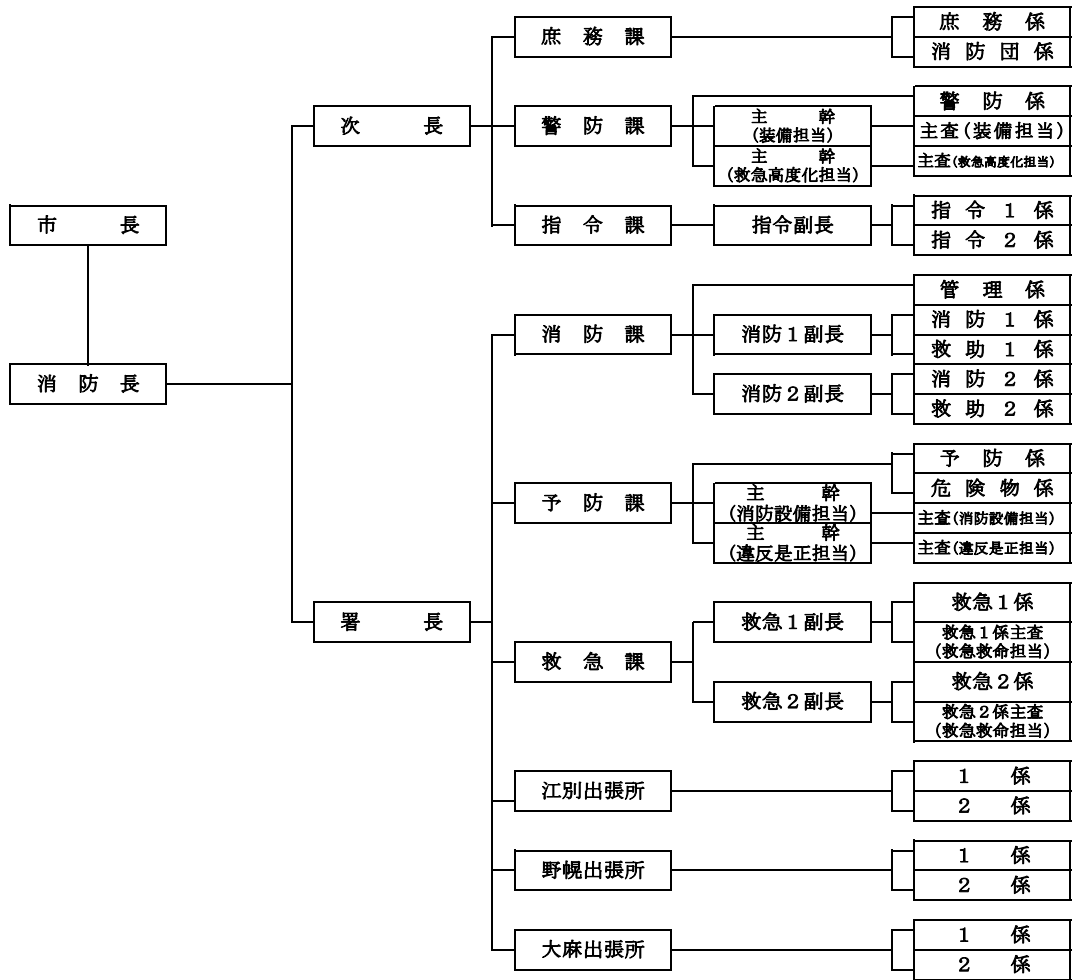
平成24年度 当初消防費予算 (歳出)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内容		節	
				特定	一般	区分	金額
消 防 費	363,297	190,417	172,880	182,895	180,402		
常 備 消防費	325,387	159,127	166,260	使用料及び 手数料 164 諸 収 入 18,260 市 債 159,400 計 177,824	147,563	報 酬 4,248 報 償 費 20 旅 費 2,250 交 際 費 30 需 用 費 45,483 役 務 費 12,575 委 託 費 38,134 使 用 料 及 び 借 料 1,391 工 事 請 負 費 63,098 原 材 料 費 207 備 品 購 入 費 5,931 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 152,020	
非常備 消防費	27,333	27,817	△481		27,333	報 酬 6,226 報 償 費 307 旅 費 10,916 交 際 費 30 需 用 費 3,318 役 務 費 411 使 用 料 及 び 借 料 150 備 品 購 入 費 134 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 5,841	
消 防 施設費	10,577	3,476	7,101	諸 収 入 2,371 市 債 2,700 計 5,071	5,506	需 用 費 578 工 事 請 負 費 9,292 原 材 料 費 707	

※ 職員給与費含まず

## 消 防 本 部（ 署 ） の 組 織 と 機 構



## 消 防 庁 舎 の 概 要

名 称	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年次
消 防 本 部・署 (消防団本部)	野幌代々木町80番地の8	鉄筋コンクリート3階建 (一部4階)	5,461.81	1,235.00	3,554.00	平成4年
江 別 出 張 所 (中央分団)	3条1丁目1番地	鉄骨造2階建	889.25	334.75	516.75	昭和59年
野幌出張所 (野幌分団)	消 防 本 部 庁 舎 内					平成4年
大 麻 出 張 所 (大麻分団)	大麻元町192番地の3	鉄筋コンクリート 一部2階建	3,066.70	465.35	615.09	平成8年
北 部 分 団	緑町東2丁目55番地の2	木造モルタル2階建	303.64	63.18	124.74	昭和46年
上 江 別 分 団	上江別南町1番地の25	木造モルタル平屋建	417.39	78.57	78.57	昭和46年
東 野 幌 分 団	野幌若葉町7番地の3	木造ガルバリウム2階建	337.70	121.50	130.68	平成24年
豊 幌 分 団	豊幌686番地の10	鉄骨造平屋建	3,000.02	99.81	99.81	平成12年
東 部 分 団	朝日町8番地の81	木造モルタル2階建	441.05	87.48	174.96	昭和63年

## 消防職員配置状況

(人)

部署	階級	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
本部	消防長	1	1							
	次長	1								1
	庶務課	7			1	1	3	1		1
	警防課	8			3	3	2			
	指令課	8			2	2	4			
	計	25	1		6	6	9	1		2
消防署	署長	1		1						
	消防課	25			3	6	10	2	3	1
	予防課	12			3	6	3			
	救急課	23			3	4	16			
	江別出張所	15			1	2	10		2	
	野幌出張所	13			1	2	6	1	3	
	大麻出張所	15			1	2	8		4	
計	104		1	12	22	53	3	12	1	
合計	129	1	1	18	28	62	4	12	3	

## 消防職員階級別年齢表

(人)

年齢	階級	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
18歳～20歳		3							3	
21歳～25歳		11						3	8	
26歳～30歳		16					14	1	1	
31歳～35歳		16					16			
36歳～40歳		22				4	18			
41歳～45歳		14				4	10			
46歳～50歳		9			2	6				1
51歳～55歳		22			10	10	2			
56歳～60歳		15	1	1	6	4	2			1
60歳以上		1								1
合計		129	1	1	18	28	62	4	12	3

※ 平均年齢 41歳5ヶ月

## 消防職員階級別勤続年数表

(人)

年数	階級	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
5年未満		23					6	3	11	3
5年以上10年未満		12					10	1	1	
10年以上15年未満		16				1	15			
15年以上20年未満		18				3	15			
20年以上25年未満		14				3	11			
25年以上30年未満		5				4	1			
30年以上		41	1	1	18	17	4			
合計		129	1	1	18	28	62	4	12	3

※ 平均勤続年数 20年9ヶ月

# 消防吏員免許資格取得状況

(人)

階 級		合 計	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
免 許 資 格									
自動車運転免許	普 通	40			4	4	16	4	12
	大 型 一 種	76	1	1	12	22	40		
	大 型 二 種	14			2	2	10		
	大 型 特 殊	11			4	2	5		
	け ん 引	7			1	1	5		
小 型 移 動 式 ク レ ーン		26			4	8	14		
玉 掛 技 能		27			4	8	15		
チェーンソー使用作業従事者		14			2	6	5		1
巻 上 げ 機 (ウ イン チ)		3					3		
足 場 組 立 作 業 主 任 者		9			3	3	3		
ア ー ク 溶 接 技 能		25	1		5	6	11	1	1
ガ ス 溶 接 技 能		13	1		5	5	2		
潜 水 士		14			1	5	8		
小 型 船 舶 操 縦	一 級	2				2			
	二 級	26			3	10	13		
酸欠危険作業主任者	酸素欠乏	33			6	9	15	2	1
	硫化水素	31			6	9	13	2	1
特定化学物質等作業主任者		2				1	1		
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		2				1	1		
粉 じ ん 作 業		2				1	1		
自 由 研 削 砥 石		4				1	3		
高 圧 ・ 特 別 高 圧 電 気 取 扱		1				1			
低 圧 電 気 取 扱		2				1	1		
防 火 対 象 物 点 検 資 格 者		1					1		
消 防 設 備 士	甲 種	0							
	乙 種	10			1		9		
危 険 物 取 扱 者	甲 種	2					2		
	乙 種	45			7	7	28	1	2
	丙 種	11			2	2	7		
予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察	28			6	14	8		
	消 防 設 備	12			2	6	4		
	危 険 物	9			2	5	2		
陸 上 特 殊 無 線 技 士	二 級	22			5	8	9		
	三 級	2				1	1		
衛 生 管 理 者		13		1	2	4	6		
自 動 車 整 備 管 理 者 ・ 運 行 管 理 者		8	1	1	1	5			
救 急 救 命 士		23			4	4	11		4

# 消 防 職 員 教 育 状 況

(人)

教育課程		年度										
		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
消防 大学 校	幹 部 教 育	1							1			
	専 科 教 育				1							
	違 反 是 正 講 習 会	1										
北 海 道 消 防 学 校	初 任 教 育	4			4	4	5	5	4	4	2	
	専 科 教 育	警 防 科	1			1		1				
		無 線 通 信 課 程										
		予 防 査 察 科		1		1		1	1		1	
		危 険 物 科			1			1			1	
		火 災 調 査 課 程		1	1		2	1	1	1		1
		救 急 科		2	2	2	2	2	2	2	3	3
		救 助 科	1	1		1	1	1	1	1	1	2
	幹 部 教 育 幹 部 科							1			1	
	気 管 挿 管 再 講 習								1	1		
	ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡 講 習										2	
	特 別 教 育	消 防 ポ ン プ 操 法 指 導 員 課 程										
		は し ご 自 動 車 運 用 課 程	1					2		1		1
		気 管 挿 管 講 習		1	1	1	1	1	1	1		
		薬 剤 投 与 講 習				1	1	1	1	2	2	
行 政 機 関 研 修	市 町 村 中 央 研 修 所	1		3	3	1	2	2	1		2	
	自 治 対 策 研 修 セ ン タ ー 札 幌 広 域 圏 組 合 共 同 研 修		1		5	1			8		1	
札 幌 市 救 命 研 修 所 他	救 急 標 準 課 程	3										
	救 急 II 課 程											
	救 急 救 命 士 養 成 課 程	1							1	1	1	
	応 急 手 当 指 導 員 イ ン ス ト ラ ク タ ー 養 成 講 座		1			1						
	薬 剤 投 与 追 加 講 習				1							
	気 管 挿 管 病 院 実 習			1	1		1		1	1	2	
合 計		14	8	9	22	14	19	15	25	15	18	

# 予 防 編



通 常 点 検

## 危険物施設状況

( 施設数 )

施設別 地区別		消 防 署			合 計
		江 別	野 幌	大 麻	
製 造 所					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	13	5	1	19
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	27	17	2	46
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	9	4	1	14
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	71	67	52	190
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			1	1
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	32	36	12	80
	屋 外 貯 蔵 所	2	2		4
取 扱 所	給 油 取 扱 所	16	18	4	38
	一 般 取 扱 所	31	26	15	72
	販 売 取 扱 所				
合 計		201	175	88	464

## 危険物施設の許可・承認状況

( 件 )

施設別 許可承認別		設 置		変 更		完 成 検 査 前 検 査	仮 使 用	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	合 計
		許 可	完 成	許 可	完 成				
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所								
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	5	5	1					11
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所								
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2	10	10	1	1		26
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	3	3	10	10				26
	屋 外 貯 蔵 所	1	1						2
取 扱 所	給 油 取 扱 所			2	2		2		6
	一 般 取 扱 所	3	3	3	1		1		11
	販 売 取 扱 所								
合 計		14	14	26	23	1	4		82



# 建築物確認申請消防同意処理状況

( 件 )

項目	区分	合計	新築	増築	改築	その他	耐火	準耐火	その他
1	イ								
	ロ	4	3			1	1		3
2	イ								
	ロ								
	ハ								
	ニ								
3	イ								
	ロ	2	1			1			2
4		3	3						3
5	イ								
	ロ	10	7			3	6		4
6	イ	1	1				1		
	ロ								
	ハ	2				2			2
	ニ								
7		4	1	1		2	2	1	1
8									
9	イ								
	ロ								
10									
11		2	1			1			2
12	イ	5	2	3				4	1
	ロ								
13	イ	1	1						1
	ロ								
14		8	8						8
15		20	18			2		1	19
16	イ	5	3	1		1	2		3
	ロ	1	1						1
17									
その他									
昇降機									
計画通知		1	1						1
小計		69	51	5		13	12	6	51
専用住宅		10	9			1			10
小計		10	9			1			10
合計		79	60	5		14	12	6	61

## 政令対象物施設状況・防火管理者選任状況

(件)

対 象 物		区 分	政 令 対 象 物	選 任 義 務 対 象 物	選 任 済 対 象 物	消 防 計 画 提 出 数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	3	3	3	3
	ロ	公会堂、集会場	67	62	62	62
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類				
	ロ	遊技場、ダンスホール	6	6	6	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のために個室にて業務を営む店舗の類	2	2	2	2
3	イ	待合、料理店の類				
	ロ	飲食店	43	41	31	31
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	99	69	55	55
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	6	3	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1,540	72	69	68
6	イ	病院、診療所、助産所	44	12	12	12
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設、重症心身障害児施設	29	28	28	28
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所、児童養護施設、精神障害者社会復帰施設	28	19	19	19
	ニ	幼稚園、盲学校、ろう学校、養護学校	8	8	8	8
7		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校の類	74	36	36	36
8		図書館、博物館、美術館の類	8	6	6	6
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	1	1	1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	6	4	3	3
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	3			
11		神社、寺院、教会の類	30	26	26	25
12	イ	工場、作業場	262	10	9	9
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	23			
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	248	7	7	7
15		前各項に該当しない事業場	263	43	36	36
16	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	153	123	113	112
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	114	38	37	37
16-2		地下街				
16-3		準地下街				
17		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	1	1	1	1
18		延長50メートル以上のアーケード	1			
19		市町村長の指定する山林				
20		自治省令で定める舟車(省令5条)				
合 計			3,062	620	573	570

階層別・業態別棟数表

(棟)

階層別 業態別		総棟数	階層別												
			4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	
1項	イ														
	ロ	1		1											
2項	イ														
	ロ														
	ハ														
	ニ														
3項	イ														
	ロ	4	1	1	1	1									
4項															
5項	イ	1		1											
	ロ	284	144	81	11	4	10	5	13	12		1	2	1	
6項	イ	6	5	1											
	ロ	6	2	4											
	ハ														
	ニ														
7項		14	8	1	1			1	2		1				
8項		1	1												
9項	イ														
	ロ														
10項															
11項															
12項	イ	7	2	2	2			1							
	ロ														
13項	イ														
	ロ														
14項		1		1											
15項		7	2	3	1	1									
16項	イ	22	10	4	4	1			2	1					
	ロ	8	5	2		1									
合計		362	180	102	20	8	10	7	17	13	1	1	2	1	

## 各 種 届 出 状 況

区 分	件 数	区 分	件 数
消 防 用 設 備 等 着 工 届	46	ス ト ー プ ・ 煙 突 取 付 清 掃 業 届 出 書	1
消 防 用 設 備 等 設 置 届	70	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	80
防 火 対 象 物 使 用 開 始 ( 内 容 変 更 ) 届	42	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	6
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	183	水 張 水 圧 検 査 ・ 検 査 申 請	
防 災 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	6	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	9
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届	214	集 合 煙 突 発 煙 試 験 申 請	
自 衛 消 防 組 織 設 置 ( 変 更 ) 届	6	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 ・ 設 備 設 置 届	45	催 物 開 催 届	7
炉 ・ 厨 房 設 備 ・ ボ イ ラ ー 設 置 届	26	道 路 工 事 届 出 書	20
温 風 暖 房 機 設 置 届		劇 場 等 の 裸 火 使 用 ・ 危 険 物 持 ち 込 み 申 請 書	5
給 湯 湯 沸 設 備 設 置 届	2	水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 の 設 置 届	
サ ウ ナ 設 備 設 置 届		煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	59
ヒ ー ト ポ ン プ 冷 暖 房 機 設 置 届		火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届 出 書	85
乾 燥 設 備 設 置 届	2	訓 練 現 地 指 導 願 い	430
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	1,571	消 防 設 備 業 届 出 書	12
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	83	液 体 燃 料 を 使 用 す る 設 備 ・ 器 具 取 付 点 検 整 備 業 届 出	
<b>合 計</b>		<b>3,010</b>	

## 民間防火組織等状況

団 体 名	会員数
幸町少年防火クラブ	20
幸町婦人防火クラブ	300
上江別第一自治会婦人防火クラブ	498
大麻幼稚園幼年消防クラブ	220
第二大麻幼稚園幼年消防クラブ	175
大谷幼稚園幼年消防クラブ	84
江別若葉幼稚園幼年消防クラブ	30
江別あかしや幼稚園幼年消防クラブ	168
江別市みどり保育園幼年消防クラブ	82
江別市つくし保育園幼年消防クラブ	45
江別市東光保育園幼年消防クラブ	56
江別市やよい保育園幼年消防クラブ	124
江別市あかしや保育園幼年消防クラブ	85
江別市白樺保育園幼年消防クラブ	86
江別市若草乳児保育園幼年消防クラブ	22
北光保育園幼年消防クラブ	24
愛保育園幼年消防クラブ	138
わかば保育園幼年消防クラブ	98
誠染保育園幼年消防クラブ	72

団 体 名	会員数
上江別幼稚園幼年消防クラブ	240
江別市防火管理者連絡協議会	176
江別市危険物安全協会	114
野幌森林自衛消防隊	19
江北地区自衛消防隊	82
24団体	2958 人

# 火災予防各種行事实施状況

行 事 名	期 間	概 要
文化財防火デー	1月26日	消防訓練 ～ 江別市郷土資料館にて通報・初期消火・避難誘訓練を実施 防火査察 ～ 「江別市屯田資料館」「江別市郷土資料館文化財整理室」における防火対象物立入検査を実施
春の火災予防運動	4月20日 ～ 4月30日	火災予防PRキャンペーン ～ 市内大型店舗「イオン江別店」「コープさっぽろ江別店」「トライアル大麻店」にて同日に開催。住宅用火災警報器の設置、住宅用消火器及び防災製品等の普及促進をPR 各種防火イベントの開催 ～ トンデンファーム、トライアル大麻等、市内各所にて実施 幼年消防クラブ入団式 ～ 市内保育園・幼稚園の新入園児がクラブ員として180名入団 高齢者等の防火安全指導 ～ 市内社会福祉施設に「施設の安心安全のため 防火自主チェック表」を配布、防火安全対策を強化 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅防火訪問 計220件 遊戯施設での文字広報 ～ 市内遊戯施設の電光掲示板にて文字情報の掲出を依頼 掲示物広報 ～ 市内各所へ防火のぼり・垂幕・アピールシートの掲示依頼 放送広報 ～ 市内18の大型店舗への火災予防店内放送を依頼
危険物安全週間	6月3日 ～ 6月9日	危険物安全週間研修会 ～ 業界相互間の事故防止に係る情報の共有化を強化するとともに、危険物に関する知識の啓発、普及を目的とした研修会を開催 チラシの配布 ～ 市内事業所へチラシを配布し、漏洩事故対策の徹底を啓発
秋の火災予防運動	10月15日 ～ 10月31日	火災予防キャンペーン ～ JR江別駅、JR野幌駅、JR大麻駅にて防火リーフレット等を配布 自動販売機放火火災対策研修会 ～ 自動販売機の整備事業者等から講師を招き、自動販売機の構造等についての研修会を実施 防火チラシの回覧 ～ 防火チラシを自治会に回覧 放火されない環境づくりPR ～ 角山パークゴルフ場にて防火チラシ・ティッシュを配布 事業所視察研修 ～ 江別市防火管理者連絡協議会及び江別市危険物安全協会の会員が北海道防災航空室の視察を通じて、自衛消防隊と防火管理体制の充実を図った。 移動タンク貯蔵所立入検査 ～ 江別警察署と合同で江別市農村環境改善センターで実施 防火教室の開催 ～ 高齢者団体と連携による住宅防火教室の開催 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅防火訪問 計201件 遊戯施設での文字広報 ～ 市内遊戯施設の電光掲示板にて文字情報の掲出を依頼 掲示物広報 ～ 市内各所に防火のぼり・垂幕・アピールシートの掲示依頼 放送広報 ～ 市内18の大型店舗への火災予防店内放送を依頼
歳末特別火災予防運動	12月20日 ～ 12月31日	放火火災撲滅キャンペーン ～ 北のたまゆら江別店にて防火チラシ・ティッシュ配布 歳末特別査察 ～ 市内大型店舗「ホームックススーパーデポ元江別店」「イオンタウン江別」「フードDLISTA」にて実施 防火安全対策の徹底 ～ 飲食店への防火管理体制の強化を指導 防火慰問 ～ 幼年消防クラブ員による市内老人施設の防火慰問 防火安全啓発キャンペーン ～ 防火パンフレット「いのちを守る身近な防火」を配布 学生による広報 ～ 江別高校野球部員がJR江別駅・高砂駅にて火災予防をPR 印刷物広報 ～ 市内各事業所へ防火だより・ポスター・リーフレットを配布 表示広報 ～ 消防各庁舎にて防火イルミネーションを設置 掲示物広報 ～ 市内各所への防火のぼり・垂幕等の掲示依頼 放送広報 ～ 市内18の大型店舗への火災予防店内放送を依頼
その他	通年	◆住宅用火災警報器設置推進関係◆ 市内にて開催されているイベントにて移動住宅防火展を開催。防火チラシ等配布を実施 ◆火災予防広報◆ STVラジオの道民放送「ようへい！サンデー」を活用した火災予防PRを実施

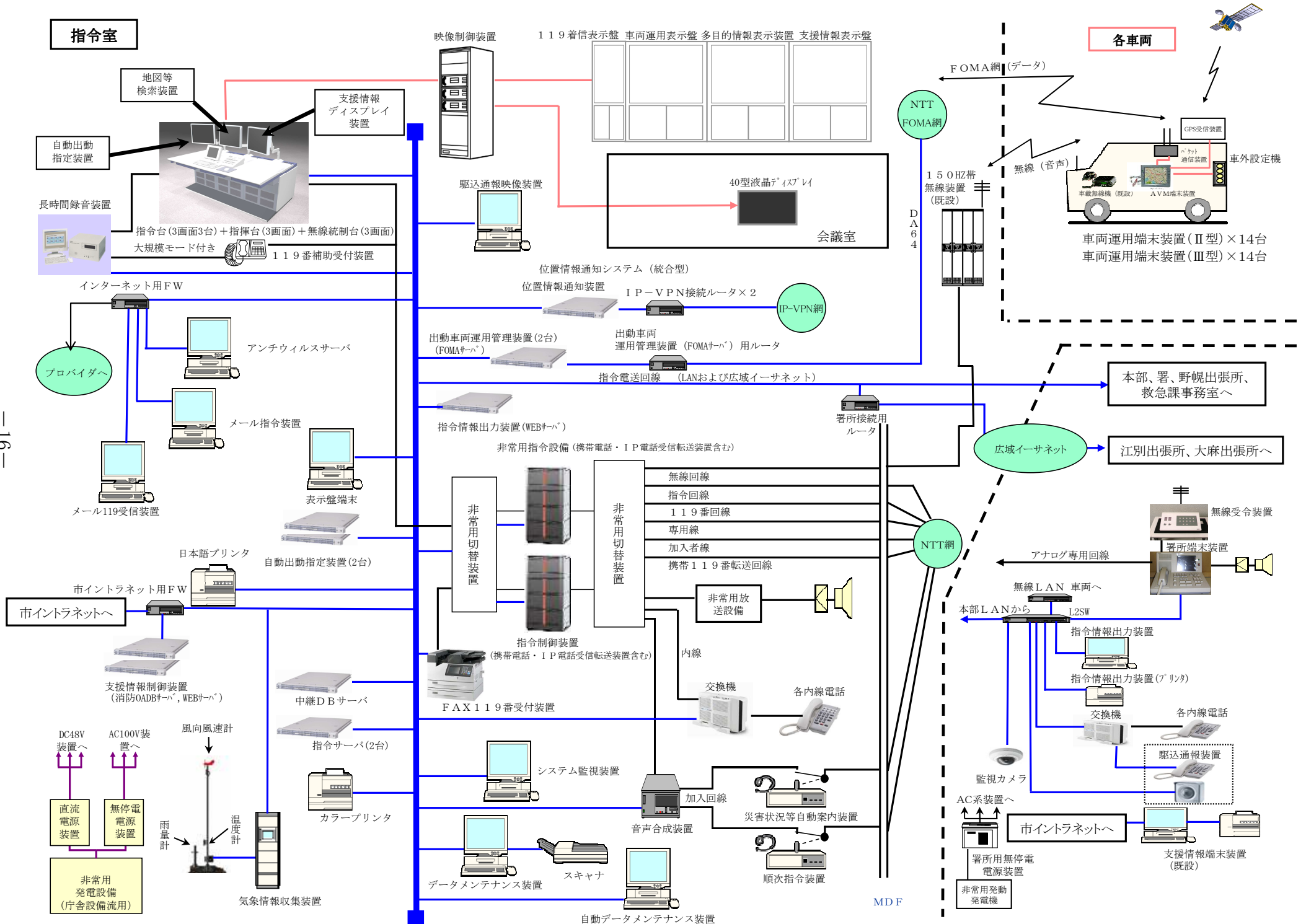
# 警 防 編



災害対応特殊救急自動車

# 高機能消防指令センター

# システム構成図





# 消 防 自 動 車 等 の 現 勢

平成24年12月31日現在

配置	区分	呼称名	種 別	型 式	機関出力 (PS/rpm)	ポンプ形式	ポンプ 級 別	水槽車 積載水量 (%)	乗定 車員 (人)	購入年月日	経過年数		無出 線力 (W)	備 考	
											年	月			
消 防 本 部 署		105号車	水 槽 車	日 野 P-GD172BA 改	180 PS	2 段タービン	A-2 級	2,000	7	S63.10.11	24	2	10W		
		104号車	化 学 車	日 野 P-FH272BA 改	270 PS	2 段タービン	A-2 級	2,000	7	S63.03.08	24	9	10W	化学消火剤1, 600%積載	
		108号車	大 型 水 槽 車	日 野 KC-FW4FRDA 改	390 PS				10,000	3	H9.12.10	15	0	10W	
		301号車	救 急 車	日 産 CBF-FPWGE50 改	177 PS					7	H22.01.13	2	11	10W	高規格救急自動車
		302号車	救 急 車	い す ゞ KC-NPS72LN 改	150 PS					8	H11.02.10	13	10	10W	高規格救急自動車
		303号車	救 急 車	ト ヨ タ CBF-TRH226S	151 PS					8	H23.11.10	1	1	10W	高規格救急自動車
		305号車	救 急 車	日 産 GE-FLWGE50 改	170 PS					7	H15.01.20	9	11	10W	高規格救急自動車
		502号車	梯 子 車	日 野 U-FR3FPBA 改	380 PS					6	H6.03.10	18	9	10W	38m級
		504号車	救 助 工 作 車	日 野 U-FH2KLA 改	270 PS					7	H4.12.21	20	0	10W	
		604号車	災 害 情 報 支 援 車	三 菱 S-V34V 改	85 PS					5	H4.09.25	20	3	10W	
		605号車	広 報 車	ト ヨ タ T-RZH112V 改	100 PS					9	H2.09.19	22	3	5W	
		606号車	連 絡 車	日 産 DBA-NY12	109 PS					5	H24.07.20	0	5	10W	
		801号車	災 害 支 援 車	ト ヨ タ KC-BU182	125 PS					2	H10.09.03	14	3	10W	
		指揮車	指 揮 車	日 産 U-RW40 改	125 PS					16	H5.02.10	19	10	10W	
		連絡車	連 絡 車	ダイハツ DBA-L245S	58 PS					4	H23.02.02	1	10		
		小型7	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 SF-755M	54 PS	1 段タービン	B-2 級				H9.12.10	15	0		大型水槽車に固定配管で積載
小型8	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-40MES	45 PS	1 段タービン	B-2 級				S62.08.28	25	4				
江 別 出 張 所		109号車	水 槽 車	日 野 KL-FE1JJDA 改	220 PS	2 段タービン	A-2 級	3,000	6	H11.12.07	13	0	10W		
		703号車	小型動力ポンプ積載車	日 産 KG-VVMGE24	100 PS				9	H12.10.23	12	2	10W		
		小型1	可搬式小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V58ASX	42 PS	1 段タービン	B-3 級			H12.10.23	12	2			
野 幌 出 張 所		107号車	水 槽 車	日 野 BDG-GX7JGWA 改	220 PS	2 段タービン	A-2 級	2,000	6	H20.12.16	4	0	10W		
		705号車	小型動力ポンプ積載車	ト ヨ タ KG-LH178V	91 PS				8	H13.09.20	11	3	10W		
		<del>小型2</del>	<del>可搬式小型動力ポンプ</del>	<del>芝 浦 TF-630M</del>	<del>48 PS</del>	<del>1 段タービン</del>	<del>B-3 級</del>			<del>H13.09.20</del>	<del>11</del>	<del>3</del>			
大 麻 出 張 所		103号車	水 槽 車	日 野 BDG-GX7JGWA 改	220 PS	2 段タービン	A-2 級	2,000	6	H21.08.24	3	4	10W		
		601号車	災 害 情 報 支 援 車	三 菱 S-CD8V 改	73 PS				5	H5.12.13	19	0	10W		
中 央 分 団		202号車	ポ ン プ 車	日 野 U-FT3HGAA 改	195 PS	2 段タービン	A-2 級		7	H7.02.16	17	10	10W		
		小型14	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 SF-655SM	53 PS	1 段タービン	B-3 級			H7.02.16	17	10		202号車に積載	
野 幌 分 団		203号車	ポ ン プ 車	日 野 KL525D 改	165 PS	2 段タービン	A-2 級		9	S53.09.08	34	3	5W		
		小型3	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-35SM	38 PS	1 段タービン	B-3 級			S53.09.08	34	3		203号車に積載	
大 麻 分 団		207号車	ポ ン プ 車	い す ゞ U-NKS66GR 改	135 PS	2 段タービン	A-1 級		6	H7.08.29	17	4	10W		
		小型5	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-35SM	38 PS	1 段タービン	B-3 級			S54.09.03	33	3		207号車に積載	
北 部 分 団		204号車	ポ ン プ 車	日 野 K-FD171AD 改	170 PS	2 段タービン	A-2 級		10	S58.10.12	29	2	5W		
		小型4	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-35SM	38 PS	1 段タービン	B-3 級			S54.09.03	33	3		204号車に積載	
上 江 別 分 団		704号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱 P-FG335B 改	110 PS				8	H1.07.31	23	5	5W	集中操作装置 (小型動力ポンプ)	
		小型2	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-630M	48 PS	1 段タービン	B-3 級			H13.09.20	11	3			
東 野 幌 分 団		206号車	ポ ン プ 車	三 菱 P-FG335C 改	110 PS	2 段タービン	A-2 級		10	H2.03.20	22	9	5W		
		小型13	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-35SM	38 PS	1 段タービン	B-3 級			S48.08.03	39	4		206号車に積載	
豊 幌 分 団		205号車	ポ ン プ 車	い す ゞ K-TLD44 改	85 PS	2 段タービン	B-1 級		6	S55.04.07	32	8	10W		
		小型10	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-35SM	38 PS	1 段タービン	B-3 級			S47.07.23	40	5			
東 部 分 団		702号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱 U-FG337B 改	120 PS				8	H2.07.26	22	5	5W	集中操作装置 (小型動力ポンプ)	
		小型15	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-40ACS	45 PS	1 段タービン	B-2 級			H2.07.26	22	5		702号車に固定配管で積載	
自 衛 消 防 隊	江 北	701号車	小型動力ポンプ積載車	ト ヨ タ M-RY32改	95 PS				6	S60.09.03	27	3			
		小型11	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦 TF-35SM	38 PS	1 段タービン	B-3 級			S47.09.01	40	3		701号車に積載	

## 消 防 水 利 設 置 状 況

(基)

区分 地区別	消 火 栓		防 火 水 槽		計	40m <sup>3</sup> 未満の防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設		公 設	私 設
江 別 地 区	332	107	46	17	502	2	7
野 幌 地 区	241	5	37	25	308	1	4
大 麻 地 区	161	8	17	3	189	1	4
合 計	734	120	100	45	999	4	15
	854		145			19	

## 市街地・準市街地等における消防水利の設置状況

(基)

区分 地域別	消火栓		防火水槽		計 (基)	基準数 (基)	充足率 (%)	40m <sup>3</sup> 未満の防火水槽等	
	公設	私設	公設	私設				公設	私設
市 街 地	698	118	96	33	999	1,100	90.82	4	9
準 市 街 地	20		3						
その他の地域	16	2	1	12					6
合 計	734	120	100	45				4	15
	854		145		19				

# 主な消防用資器材等保有状況

(平成24年12月31日現在)

器具名		数量	器具名		数量	器具名		数量		
一般救助用器具	かぎ付きはしご	8	隊員保護用具	耐電衣 (上下・手袋・長靴)	2	救急関係器具	電動式吸引器	5		
	三連はしご	4		防毒衣	2		手動式吸引器	4		
	二連はしご	12		耐熱服	2		半自動除細動器	4		
	救命索発射銃	1		安全带	6		自動体外式除細動器	3		
	救助用担架	4		防護服	7		輸液用ポンプ	1		
	空気式救助マット	1		全身化学防護服	2		心電計	6		
				携帯警報器	37		血中酸素飽和度測定器	12		
重量物排除用器具	大型油圧ジャッキ	1	測定用器具	ガス測定器	4	救急関係器具	生体情報モニタ	4		
	大型油圧スプレッター	1		放射線測定器	6		血圧計	10		
	小型油圧式救助器具	2		個人線量計	17		喉頭鏡	15		
	チルホール	2					呼吸炭酸ガスモニター	2		
	マット式空気ジャッキ	1					体温計(鼓膜)	7		
				呼吸	空気呼吸器		37	手動式人工呼吸器 (成人用BVM)	16	
				吸保	エアラインマスク		2	手動式人工呼吸器 (新生児用BVM)	8	
切断用器具	大型油圧切断器	1	保護用具	送排風機	1	救急関係器具	異物除去鉗子 (マギール鉗子)	14		
	エンジンカッター	8					陰圧式固定マット	8		
	チェンソー	4					酸素レギュレーター	24		
	アーケアー切断機	1					自動式人工呼吸器	3		
	鉄線カッター	3		水難救助用具	救命胴衣		247	救急関係器具	オゾンガス発生器	1
	空気鋸	1			救命浮環		7			
	空気切断機	1			救命ボート		3			
エアーツール	1	船外機	3							
破壊用器具	鉄筋カッター	1	潜水用具	潜水器具一式	2	救急関係器具				
	弁慶	3		水中ライト	2					
	ホリガンツール	1		水中用投光器	1					
	ストライカー	4		ドライスーツ	7		消防活動器具	消防用ホース	553	
削岩機	1	携帯無線機	24	サバイバーライト	29					
トップマントビ	7	投光器	9	小型動力ポンプ	13					
検索性器具	簡易画像探索機	2	その他救助用具	高感度GPSナビゲータ	3	大規模災害資器材	資機材搬送手動車	5		
	熱画像直視装置	1					集団災害用資機材	1		
							災害応援派遣隊資機材	1		
							救護器具セット	2		
						煮炊釜セット	2			

# 災害等総括編



防災訓練状況

### 月別災害等受付件数

(平成24年)

月別	火災		救急		救助		他の災害		問合せ		通報訓練		悪戯		間違い		その他		転送 携帯	合計	
		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他			
1月	1		332	40	10	5	30	7	74	31	13	3			23	2	57	33	3	543	124
2月	4	2	288	43	19	9	46	19	70	42	34	7	1		29	12	57	35	6	554	175
3月	3		304	33	17	10	32	12	61	26	18	1			27	15	79	54	3	544	154
4月	5		264	28	5	4	29	7	53	28	28	10			20	6	60	17	4	468	104
5月	21	1	310	51	6	3	20	7	28	14	45	3	1		33	14	67	21	1	532	115
6月	3	1	331	46	6	3	25	13	59	22	84	16	1		15	6	60	27	4	588	138
7月	14	5	355	48	7	1	28	9	66	30	34	6	2		30	8	84	60	5	625	172
8月	3		351	42	6	3	44	14	40	19	42	16			27	9	54	14	3	570	120
9月	4	1	294	35	10	4	51	19	61	21	62	9	1		25	6	65	16	2	575	113
10月	10	2	305	46	6	3	29	10	54	29	108	28	1		35	13	109	39	8	665	178
11月	3		293	48	10	3	38	9	59	42	68	20	1		26	15	125	78	2	625	217
12月	17	6	346	42	12	6	36	13	93	37	17	13	8		29	13	96	40	6	660	176
合計	88	18	3,773	502	114	54	408	139	718	341	553	132	16		319	119	913	434	47	6,949	1,786
月平均	7.3	1.5	314.4	41.8	9.5	4.5	34.0	11.6	59.8	28.4	46.1	11.0	1.3		26.6	9.9	76.1	36.2	3.9	579.1	148.8
日平均	0.24	0.05	10.34	1.38	0.31	0.15	1.12	0.38	1.97	0.93	1.52	0.36	0.04		0.87	0.33	2.50	1.19	0.13	19.04	4.89

### 過去3ヶ年災害受付状況

	火災		救急		救助		他の災害		問合せ		通報訓練		悪戯		間違い		その他		転送 携帯	合計	
		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他			
21年	92	70	3,341	1,679			484	334	879	652			7	2	320	241	1,599	1,053	45	6,767	4,076
22年	82	51	3,427	1,789			632	458	603	408			12	5	341	256	1,264	651	19	6,380	3,637
23年	84	18	3,570	444	131	58	494	166	884	351	362	36	13		323	151	1,263	700	45	7,169	1,969

※ 本表は、119番通報(NTT回線、IP回線、携帯電話)、緊急通報装置、専用回線、一般加入電話、駆け込み、直接覚知、消防無線、FAX、Eメールによる災害等の通報受付件数を集計したものである。

※ その他は、内数であり、緊急通報装置、専用回線、一般加入電話、駆け込み、直接覚知、消防無線、FAX、Eメール等による災害等の受付件数である。

## 火災、救助、警戒等出動及び救急出動件数

(件)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救 急 支 援	自 然 水 災 害 等	計
1 月	2	371	6	8	30	0	417
2 月	4	341	14	17	45	0	421
3 月	1	334	17	23	25	0	400
4 月	3	296	6	12	35	1	353
5 月	2	326	4	14	22	0	368
6 月	3	344	5	14	30	0	396
7 月	5	369	2	15	28	0	419
8 月	1	385	7	19	39	0	451
9 月	3	314	8	21	25	9	380
10 月	5	338	6	13	31	0	393
11 月	1	333	6	22	39	0	401
12 月	6	385	7	15	51	0	464
計	36	4,136	88	193	400	10	4,863

## 過去5ヶ年災害等発生及び出動状況

(件)

種別 年別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救 急 支 援	自 然 水 災 害 等	計
平成20年	39	3,629	78	177	289	2	4,214
平成21年	36	3,618	72	154	277	1	4,158
平成22年	24	3,773	101	216	309	11	4,434
平成23年	43	3,997	127	247	348	19	4,781
平成24年	36	4,136	88	193	400	10	4,863

## 月別警戒等出動状況

(件)

種別 月別	警 戒								風水害等 自然災害	計
	火気設備等 事故	燃焼事 故	警報設 備等	ガス漏 れ	油流 出	誤報 等	危険排 除	そ の 他		
1月	0	0	2	0	1	2	3	0	0	8
2月	0	1	5	0	0	3	8	0	0	17
3月	1	0	4	0	7	6	5	0	0	23
4月	1	0	2	0	4	2	2	1	1	13
5月	3	1	4	0	1	3	1	1	0	14
6月	0	0	2	0	6	1	4	1	0	14
7月	0	3	3	0	2	4	2	1	0	15
8月	0	1	5	0	5	3	4	1	0	19
9月	0	1	4	0	6	2	7	1	9	30
10月	0	0	1	0	3	5	3	1	0	13
11月	1	1	10	0	3	4	2	1	0	22
12月	3	0	4	0	3	1	4	0	0	15
計	9	8	46	0	41	36	45	8	10	203

## 地区別警戒等出動状況

(件)

種別 地区別	警 戒								風水害等 自然災害	計
	火気設備等 事故	燃焼事 故	警報設 備等	ガス漏 れ	油流 出	誤報 等	危険排 除	そ の 他		
江別地区	2	4	20	0	21	16	12	7	1	83
野幌地区	4	3	19	0	11	8	25	0	1	71
大麻地区	3	1	8	0	8	10	8	0	8	46
計	9	8	47	0	63	56	45	7	10	200
管外	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3
総計	9	8	47	0	64	57	45	8	10	203

## 月別救急支援出動状況

(件)

種別 月別	救 急 支 援				計
	(C 疑い 含む) P A	搬 送 困 難	危 険 排 除	そ の 他	
1 月	24	4	2	0	30
2 月	30	8	5	2	45
3 月	18	4	0	3	25
4 月	25	7	1	2	35
5 月	16	4	2	0	22
6 月	22	5	1	2	30
7 月	18	7	2	1	28
8 月	31	3	1	4	39
9 月	21	0	0	4	25
10 月	26	2	3	0	31
11 月	30	2	3	4	39
12 月	34	10	4	3	51
計	295	56	24	25	400

## 地区別救急支援出動状況

(件)

種別 地区別	救 急 支 援				計
	(C 疑い 含む) P A	搬 送 困 難	危 険 排 除	そ の 他	
江別地区	114	15	9	5	143
野幌地区	95	22	11	8	136
大麻地区	86	19	3	12	120
計	295	56	23	25	399
管外	0	0	1	0	1
総計	295	56	24	25	400



## 北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況

### 1. 応援出動状況 (件)

種別 \ 分類	件数	出動車両台数	出動人員	搬送人員
救急出動	4	7	24	2
救助出動	3	13	37	1
火災出動	2	10	32	
警戒出動				
計	9	30	93	3

(応援先内訳)

札幌市消防局 3事案、石狩北部地区消防事務組合 4事案  
 岩見沢地区消防事務組合 2事案、北広島市消防本部 1事案

### 2. 被応援状況 (件)

種別 \ 分類	件数	出動車両台数	出動人員	搬送人員
救急出動	10	10	31	7
救助出動	3	9	33	6
火災出動	1	1	4	
警戒出動	2	2	6	
計	16	22	74	13

(要請先内訳)

札幌市消防局 12事案、岩見沢地区消防事務組合 1事案  
 北広島市消防本部 2事案、南空知消防組合 1事案

## 航空隊応援要請状況

(件)

要請内訳 \ 航空隊別	要請件数	内訳				
		急病	交通事故	一般負傷	労災	その他
ドクターヘリ	30	5	7	9	5	4
北海道防災ヘリ	1			1		
その他						
計	31	5	7	10	5	4

※その他内訳 ～ 運動競技1件、自損行為2件、転院搬送1件

# 火 災 編



火 災 現 場

## 火 災 発 生 状 況

区 分	内 訳	
出 火 件 数	建 物 火 災                      2 1 件	車 両 火 災                      5 件
	林 野 火 災                      0 件	そ の 他 火 災                      9 件
	合 計                              3 5 件	
焼 損 棟 数	全焼4棟・半焼1棟・部分焼6棟・ぼや16棟      合計27棟	
建物焼損面積	焼 損 床 面 積	5 5 0 m <sup>2</sup>
	焼 損 表 面 積	8 6 m <sup>2</sup>
林野焼損面積	0 h a ( 0 a )	
損 害 額	建物の損害    1 4 , 6 2 2 千円	車両の損害    1 , 5 3 7 千円
	林野の損害                      0 千円	その他の損害                      8 8 3 千円
	合 計                              1 7 , 0 4 2 千円	
死 傷 者 数	死者0人・負傷者3人	
出火1件当り 焼 損 面 積	約 2 6 m <sup>2</sup>	
出火1件当り 損 害 額	約 4 8 6 , 9 1 4 円	

# 平成24年 月 別 火 災 状 況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出 火 件 数	全 焼	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	4
	半 焼	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	部 分 焼	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	ほ や	2	2	1	2	0	2	1	0	0	2	0	2	14
	爆 発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	林 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	5
	船 舶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	航 空 機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	1	0	0	0	1	3	2	1	1	9
	計	2	4	1	3	2	3	4	1	3	5	1	6	35
累 計	2	6	7	10	12	15	19	20	23	28	29	35		
焼 損 棟 数	全 焼	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	4
	半 焼	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	部 分 焼	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	6
	ほ や	2	3	1	2	0	3	1	0	0	2	0	2	16
	爆 発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼 損 床 面 積 m <sup>2</sup>	0	11	0	0	213	223	68	0	0	35	0	0	550	
焼 損 表 面 積 m <sup>2</sup>	0	0	0	2	16	62	1	0	0	5	0	0	86	
林 野 焼 損 面 積 a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
罹 災 世 帯	全 損	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	半 損	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	小 損	3	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	2	11
罹 災 人 員	7	3	0	0	6	7	3	0	0	0	0	6	32	
死 傷 者 等	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負 傷 者	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
	30日死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼 損 見 積 額 千 円	建 物	5	1,051	28	3	3,164	3,548	4,765	0	0	2,037	0	21	14,622
	林 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,520	1,537
	船 舶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	航 空 機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	80	287	291	12	213	883
	計	5	1,068	28	3	3,164	3,548	4,765	80	287	2,328	12	1,754	17,042
累 計	5	1,073	1,101	1,104	4,268	7,816	12,581	12,661	12,948	15,276	15,288	17,042		

図1 月別火災出火数

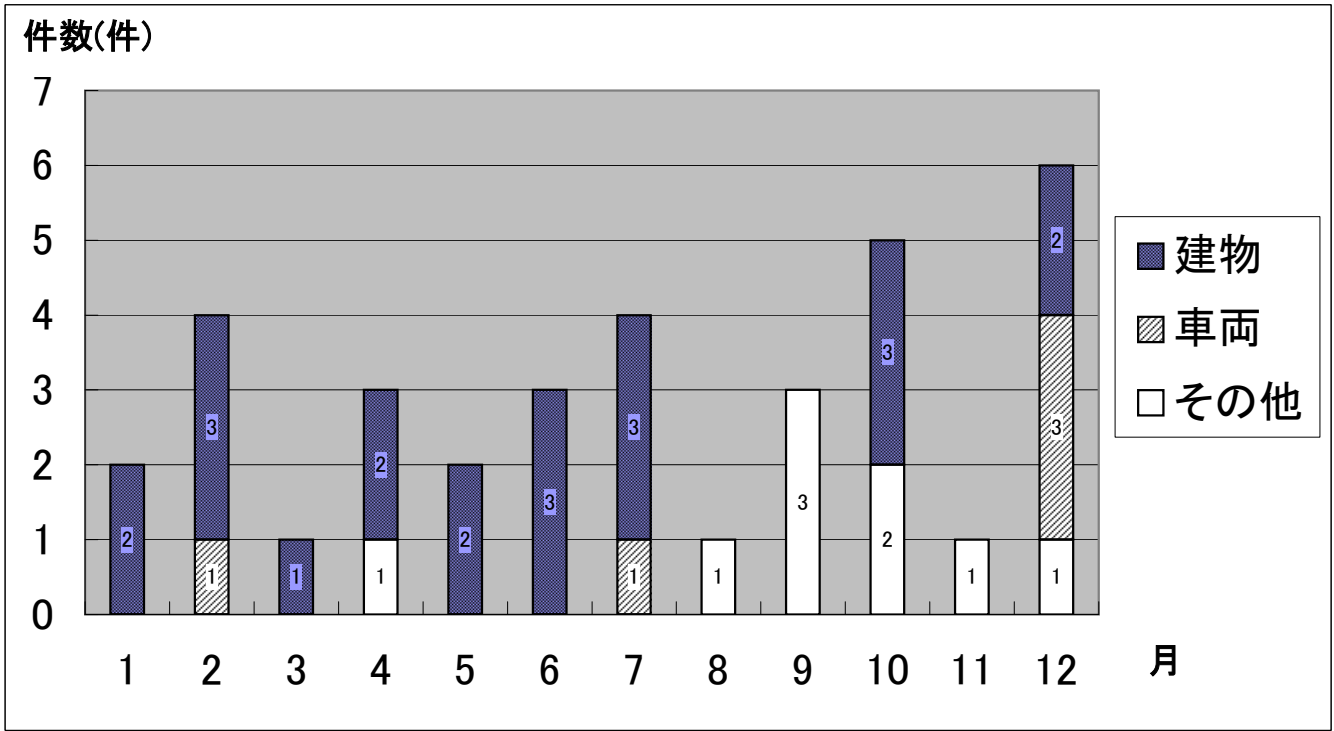
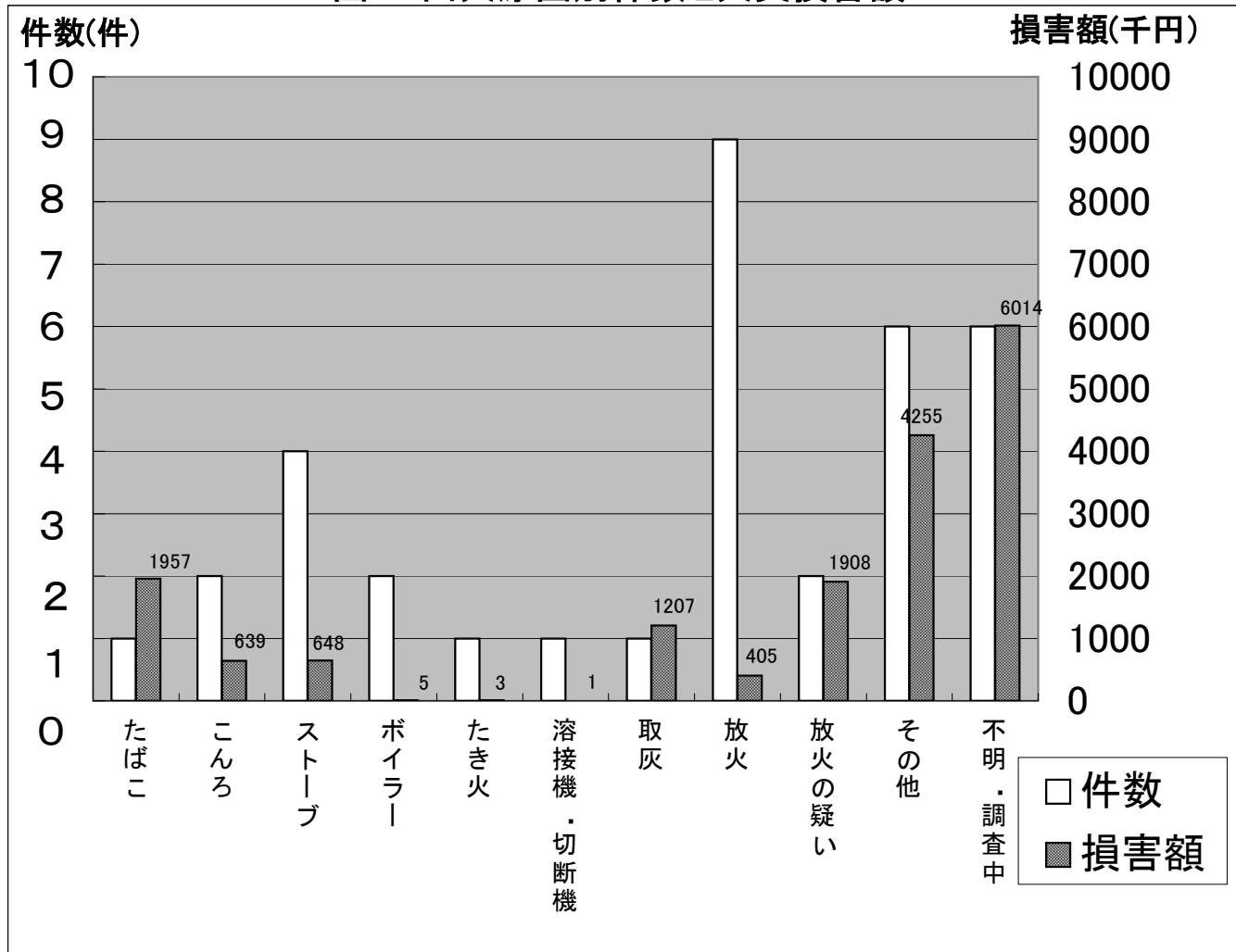


図2 出火原因別件数と火災損害額



# 過去3ヶ年原因別火災発生状況

原因別	年別	平成24年		平成23年		平成22年	
		件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
たばこ		1	1,957	1	58	4	7,430
こんろ		2	639	6	89	1	12
かまど		0	0	0	0	0	0
風呂かまど		0	0	0	0	0	0
炉		0	0	1	167	0	0
焼却炉		0	0	0	0	0	0
ストーブ		4	648	1	8,248	1	1
こたつ		0	0	0	0	0	0
ボイラー		2	5	0	0	0	0
煙突・煙道		0	0	0	0	0	0
排気管		0	0	1	6	0	0
電気機器		0	0	1	3	0	0
電気装置		0	0	0	0	0	0
電灯・電話等の配線		0	0	0	0	0	0
内燃機関		0	0	0	0	0	0
配線器具		0	0	2	26,510	0	0
火あそび		0	0	1	0	1	177
マッチ・ライター		0	0	0	0	0	0
たき火		1	3	0	0	0	0
溶接機・切断機		1	1	0	0	0	0
灯火		0	0	0	0	1	1,493
衝突の火花		0	0	0	0	0	0
取灰		1	1,207	0	0	0	0
火入れ		0	0	0	0	1	0
放火		9	405	11	1,178	1	1
放火の疑い		2	1,908	1	6	5	17,946
その他		6	4,255	12	16,010	4	185
不明・調査中		6	6,014	5	2,202	5	43,323
合計		35	17,042	43	54,477	24	70,568

## 用途別火災原因調査

区分	火元用途	出火箇所	発火源	経過	着火物
建物 火災	専用住宅	洗面室	ボイラー	維持管理不備	排気筒カバー
		洗面室	ボイラー	維持管理不備	排気筒カバー
		台所	ガステーブル	加熱を忘れる	てんぷら油
		居間	たばこ	不適當なところに置く	ごみ屑
		壁内	ハンドトーチ	過熱する	木ずり
		寝室	電気ストーブ	輻射を受ける	衣類
		居室	蚊取り線香	動いて触れる	ぬいぐるみ
		玄関	不明	不明	不明
		居間	不明	不明	ごみ屑
		台所	ガステーブル	過熱を忘れる	てんぷら油
	共同住宅	階段室	不明	放火	紙類
		階段室	不明	放火	紙類
		物置	不明	放火	紙くず
	工場	破風板	ガスバーナー	輻射を受ける	ごみ屑
	倉庫	一般倉庫	不明	不明	不明
		倉庫	不明	放火の疑い	不明
	事務所	事務室	開放式石油ストーブ	取り扱い不備	開放式石油ストーブ
	公衆便所	便所	不明	放火	紙くず
		便所	ライター	放火	トイレトペーパー
	自家用物置	物置	取灰	不適當なところに置く	麻袋
その他建築物	外周部	溶接機	火花が飛ぶ	シーリングボード	
車両 火災	乗用自動車	出火箇所不明	不明	不明	不明
		エンジンルーム	AFセンサー	ウエスを置き忘れる	ウエス
	貨物自動車	助手席センターピラー内	不明	不明	電気配線
		タイヤ	ベアリング破損による摩擦	過熱する	タイヤ
塵芥車	荷箱内	スプレー缶	スパークによる引火	ごみ	
その 他 火 災	自動販売機		不明	放火	自動販売機
			不明	放火	自動販売機
			不明	放火	自動販売機
			不明	放火	自動販売機
	その他	建築廃材置場	たき火の火の粉	飛火	廃材
		廃タイヤ置場	不明	不明	不明
		建築資材置場	ストーブ	輻射を受ける	コンクリートパネル
		街路灯	不明	放火の疑い	枕木
	ビニールハウス	薪ストーブ	焚口から火種がこぼれる	ごみ	

# 火災覚知別状況

種別 件数	火災報知 専用電話 (加入)	火災報知 専用電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他	合計
件数	10件	10件	1件		1件		13件		35件
比率	28.6%	28.6%	2.9%		2.9%		37%		100%

## 曜日別・出火時間火災状況(件)

(件)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	合計
0~1		1						1
1~2						1		1
2~3								
3~4								
4~5	1			1				2
5~6		1						1
6~7					1	2		3
7~8	1	1	1					3
8~9		1		2				3
9~10							1	1
10~11		1				2		3
11~12			1					1
12~13		1	1					2
13~14		1				1		2
14~15								
15~16							1	1
16~17							1	1
17~18								
18~19	1				1	1		3
19~20		1			1	1		3
20~21								
21~22		1					1	2
22~23							1	1
23~24	1							1
不明								
合計	4	9	3	3	3	8	5	35



# 救 助 編



交 通 事 故 現 場

## 月別救助出動状況

(件)

種別 月別	出動 件数	事 故 種 別										救 助 人 員	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	風 水 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 び	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
1月	6			4								2	2
2月	14			5								9	1
3月	17			4				1	1			11	8
4月	6			2				1	1			2	4
5月	4			1	1				1			1	1
6月	5			1								4	3
7月	2			2									2
8月	7			2					1			4	4
9月	8			1					1			6	1
10月	6			1	2		1	1				1	1
11月	6			4	1							1	3
12月	7			4					1			2	1
計	88			31	4		1	3	6			43	31

## 過去5ヶ年救助出動状況

(件)

種別 年別	出動 件数	事 故 種 別										救 助 人 員	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	風 水 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 び	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
平成20年	78	2		35	3		3	18	6			11	53
平成21年	72	4		21	3		1	32	5			6	60
平成22年	101	1	1	46	5		1	32	7			8	47
平成23年	127	3		36	3		1	34	10			40	58
平成24年	88			31	4		1	3	6			43	31

## 地区別救助出動状況

(件)

地区別	種別	出動件数	事故種別								救助人員			
			火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害 事故等	風水 害等	機械 による 事故	建物等 による 事故		酸ガ ス及 び	破 裂 事 故	その 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外										
江別市内		86			29	4		1	3	6		43	30	
江別地区		36			11	3		1	2	3		16	11	
野幌地区		28			13					2		13	13	
大麻地区		22			5	1			1	1		14	6	
江別市外		2			2								1	
計		88			31	4		1	3	6		43	31	

## 発生場所別救助出動状況

(件)

発生場所別	種別	出動件数	事故種別								救助人員			
			火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害 事故等	風水 害等	機械 による 事故	建物等 による 事故		酸ガ ス及 び	破 裂 事 故	その 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外										
屋内	住居	24							3	1		20	9	
	その他の屋内	3								1		2		
屋外	道路	高速自動車国道	2		2								1	
		その他の道路	40		27								13	17
	水面	内水面	1			1								
		外水面												
	その他の屋外	18			2	3		1		4		8	4	
地下														
その他														
計		88			31	4		1	3	6		43	31	

# 救 急 編



応急手当普及員追加講習

## 救 急 活 動

出 場 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	不搬送件数	医師搬送	傷病者搬送人員
4136件	3750件	386件	1件	3776人

### 月 別 救 急 出 場 状 況 (件)

種別 月別	出 場 件 数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1 月	371	1			25	2	1	46	1	6	252	32	1		4
2 月	341	2			31	7	4	42		1	216	28			10
3 月	334	1			12	4		58		4	205	35			15
4 月	296	3			21	3	2	31	1	2	204	26			3
5 月	326	2			21	4	8	39	1	4	200	44			3
6 月	344	4			30	2	9	46	1	5	207	35			5
7 月	369	5			35	3	6	46	2	5	228	37			2
8 月	385				23	1	5	44		7	254	44			7
9 月	314	1			21	3	6	33		6	210	30			4
10 月	338	3			24	4	5	37		10	206	46			3
11 月	333	3			32	3	3	52	1	3	201	32			3
12 月	385	7			19	1	7	62		2	249	35			3
計	4,136	32			294	37	56	536	7	55	2,632	424	1		62
搬送人員	3,776	2			276	36	56	501	6	38	2,440	421			

### 過去5ヶ年救急出場状況

種別 年別	出 場 件 数 ( 件 )	事 故 種 別														搬 送 人 員 ( 人 )	
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他					
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他		
平成20年	3,629	42			2	300	37	67	451	15	78	2,263	335		1	38	3,327
21年	3,618	51			2	250	31	63	400	16	83	2,334	364			24	3,318
22年	3,773	32			3	282	34	68	486	17	76	2,417	314	4		40	3,435
23年	3,997	34			1	290	43	54	531	14	71	2,510	375	7		67	3,643
24年	4,136	32				294	37	56	536	7	55	2,632	424	1		62	3,776

## 曜 日 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 曜日	出場 件数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
月	641	7			46	7	8	66	1	11	397	89	1		8
火	567	3			48	7	6	73	2	10	355	57			6
水	558	3			40	7	4	86		7	343	59			9
木	577	4			31	3	5	69	1	8	383	63			10
金	621	3			40	5	6	92	2	8	388	66			11
土	610	5			45	3	11	79	1	5	401	52			8
日	562	7			44	5	16	71		6	365	38			10
計	4,136	32			294	37	56	536	7	55	2,632	424	1		62

## 時 間 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 時間	出場 件数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
0～2	189	1			8			18		2	137	22			1
2～4	161	1			5	1		23		1	114	13			3
4～6	160	3			14	2		23		2	107	6			3
6～8	312	3			26	2		37		3	229	8			4
8～10	516	4			39	11	2	73	1		333	43			10
10～12	502	4			39	4	16	54	1	7	299	72			6
12～14	396	3			17	7	17	54		3	241	47			7
14～16	410	2			45	5	10	64	1	8	217	54	1		3
16～18	448	1			43	3	3	59	1	11	268	52			7
18～20	442	4			33	1	5	60		8	289	35			7
20～22	283	4			9			2負傷	2	4	215	42			5
22～24	282	2			16	1	1	36	1	6	183	30			6
計	4,101	32			294	37	56	501	7	55	2,632	424	1		62

## 地区別救急出場状況

(件)

地区別	種別	出場件数	事故種別														
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
江別市		4,127	31				287	37	56	536	7	55	2,632	424	1		61
管内	江別	1,531	20				108	27	7	194	1	22	963	167			22
	野幌	1,581	6				121	7	27	193	4	17	957	235			14
	大麻	1,015	5				58	3	22	149	2	16	712	22	1		25
管外		9	1				7										1
管内	札幌市	3					3										
	岩見沢市	2	1														1
	南幌町	1					1										
	当別町	2					2										
	新篠津村	1					1										
計		4,136	32				294	37	56	536	7	55	2,632	424	1		62

## 高速自動車道救急出場状況

(件)

地区別	種別	出場件数	事故種別														
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
江別市		7					6						1				
管内	江別	3					2						1				
	野幌	2					2										
	大麻	2					2										
管外		3	1				1										1
管内	札幌市	1					1										
	岩見沢市	2	1														1
計		10	1				7			負傷			1				1

年 齢 別 救 急 搬 送 人 員 調 査

(人)

区分	種別	事 故 種 別										計		
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病		そ の 他	
													転 院 搬 送	そ の 他
新生児	生後28日以内									1	4		5	
乳幼児	生後29日以上6歳				9			29			78	14	130	
少年	7歳～17歳				24		24	20	2	1	58	12	141	
成年	18歳～64歳	1			192	29	31	114	3	27	846	153	1,396	
高齢者	65歳以上	1			51	7	1	338	1	10	1,457	238	2,104	
不明														
計		2			276	36	56	501	6	38	2,440	421	3,776	

年 齢 別 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 調 査

(人)

区分	程度	傷 病 程 度 別					計
		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
新生児	生後28日以内		4	1			5
乳幼児	生後29日以上6歳		6	30	94		130
少年	7歳～17歳		5	38	98		141
成年	18歳～64歳		15	128	528	725	1,396
高齢者	65歳以上		69	368	990	675	2,104
計			84	511	1,587	1,592	3,776

医 療 機 関 別 傷 病 者 搬 送 状 況

(人)

告示別	種別	急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		計	
		管 外	管 内	管 外	管 内	管 外	管 内	管 外	管 外	管 内	
救急医療機関	国立	15	15	1	1	5	5	9	9	30	30
	公立	1,157	32	51	6	142	9	203	21	1,553	68
	公的	30	30	1	1	2	2	16	16	49	49
	私病	1,089	464	206	90	328	128	294	184	1,917	866
	私的診療所	24	9	14		14		9	2	61	11
	計	2,315	550	273	98	491	144	531	232	3,610	1,024
その他の医療機関	国立							1	1	1	1
	公立	20	2			1	1	4	4	25	7
	公的										
	私病	67	63			5	5	20	18	92	86
	私的診療所	38	5	3		3		3	1	47	6
	計	125	70	3		9	6	28	24	165	100
計	国立	15	15	1	1	5	5	10	10	31	31
	公立	1,177	34	51	6	143	10	207	25	1,578	75
	公的	30	30	1	1	2	2	16	16	49	49
	私病	1,156	527	206	90	333	133	314	202	2,009	952
	私的診療所	62	14	17		17		12	3	108	17
	計	2,440	620	276	98	500	150	559	256	3,775	1,124
その他の場所	接骨院等										
	その他					1				1	
	計					1				1	
	計	2,440	620	276	98	501	150	559	256	3,776	1,124



## 救急隊員の行った応急処置件数

(人)

種別 処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員	2,433	274	497	547	3,751

(件)

止血	17	7	33	14	71
固定	16	140	76	52	284
人工呼吸	15			4	19
心マッサージ	1	1			2
うち自動					
心肺蘇生	84	4	8	7	103
うち自動	11		1	3	15
酸素吸入	516	22	43	127	708
気道確保	109	6	13	15	143
経鼻エアウェイ	2				2
喉頭鏡・鉗子等	4		6		10
ラリングアルマスク等	73	4	6	6	89
気管挿管					
保温	2,135	149	396	449	3,129
被覆	13	49	95	38	195
在宅療法継続	28		1		29
点滴処置					
気管切開孔・人工肛門等の外傷	4				4
上記以外の処置	24		1		25
ショックパンツ					
除細動	8			1	9
静脈路確保	69	3	4	7	83
薬剤投与	43			5	48
その他の応急処置	8		2	1	11
血圧測定	2,297	266	472	504	3,539
聴診器による聴取	603	72	66	55	796
血中酸素飽和度の測定	2,347	267	481	530	3,625
心電図	1,249	42	87	148	1,526
うち伝送					
計	9,558	1,028	1,777	1,957	14,320

※ 事故種別「その他」とは、火災、自然災害、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送の事案。

## 応急手当普及講習会の開催状況

### 1. 講習別参加人員

種 別	開 催 回 数	参 加 人 員	内 容
普通救命講習	I	64回	1,523名 応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に成人に対する方法)
	II	11回	192名 上記講習に効果確認を加えた4時間講習
	III	0回	0名 応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に小児、乳児、新生児に対する方法)
	計	75回	1,715名
上級救命	3回	41名	応急手当の重要性、その他応急手当 救命に必要な応急手当 (成人、小児、乳児、新生児に対する方法)
救命入門コース	2回	29名	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に成人に対する方法、実技のみの講習)
一般救急講習	37回	1,530名	応急手当(市民からの要請に基づく項目・時間により実施する講習)

### 2. 過去年別 応急手当普及講習会実施状況

		平成20年	以前	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	計
普通救命講習	I	回数	512回	80回	73回	79回	64回	808回
		男性	5,057名	1,118名	823名	948名	787名	8,733名
		女性	7,502名	926名	766名	864名	736名	10,794名
		合計	12,559名	2,044名	1,589名	1,812名	1,523名	19,527名
	II	回数	59回	11回	6回	13回	11回	100回
		男性	377名	71名	59名	186名	93名	786名
		女性	276名	43名	47名	88名	99名	553名
		合計	653名	114名	106名	274名	192名	1,339名
	III	回数	0回	0回	一般負傷	0回	0回	0回
		男性	0名	0名	0名	0名	0名	0名
		女性	0名	0名	0名	0名	0名	0名
		合計	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	計	回数	571回	91回	79回	92回	75回	908回
		男性	5,434名	1,189名	882名	1,134名	880名	9,519名
		女性	7,778名	969名	813名	952名	835名	11,347名
		合計	13,212名	2,158名	1,695名	2,086名	1,715名	20,866名
上級救命	回数	12回	3回	3回	3回	3回	24回	
	男性	57名	32名	37名	35名	24名	185名	
	女性	53名	30名	26名	28名	17名	154名	
	合計	110名	62名	63名	63名	41名	339名	
救命入門コース	回数	0回	0回	0回	0回	2回	2回	
	男性	0名	0名	0名	0名	15名	15名	
	女性	0名	0名	0名	0名	14名	14名	
	合計	0名	0名	0名	0名	29名	29名	
一般救急	回数	434回	53回	66回	47回	37回	637回	
	人数	21,082名	2,598名	2,907名	1,727名	1,530名	29,844名	

### 3. 救命講習参加者年代別内訳(一般救急講習を除く)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
男性	424名	110名	78名	70名	97名	111名	29名	919名
女性	403名	108名	93名	121名	101名	32名	8名	866名
合計	827名	218名	171名	191名	198名	143名	37名	1,785名

# 消 防 団 編



北 海 道 消 防 大 会

## 消 防 団 員 数

(人)

階級 区分	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	
								女性団員	
団 本 部	1	3			1	3	15	19	23
中 央 分 団			1	1	1	5	13		21
野 幌 分 団			1	1	1	5	11		19
北 部 分 団			1	1	1	5	12		20
大 麻 分 団			1	1	1	5	12		20
上 江 別 分 団			1	1	1	5	13		21
東 野 幌 分 団			1	1	1	5	13		21
豊 幌 分 団			1	1	1	5	14		22
東 部 分 団			1	1	1	5	11		19
女性団員					1	3	15	19	
計	1	3	8	8	9	43	114		186
定 数	1	3	8	8	9	43	128		200

## 消 防 団 員 階 級 別 勤 続 年 数 表

(人)

階級 年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	
								女性団員	
5 年 未 満							36	4	36
5年以上10年未満							22	3	22
10年以上15年未満					2	2	23	6	27
15年以上20年未満						10	12	3	22
20年以上25年未満		1	1	1	4	11	14	3	32
25年以上30年未満		1	1	4	1	11	4		22
30 年 以 上	1	1	6	3	2	9	3		25
女性団員					1	3	12	19	
計	1	3	8	8	9	43	114		186

※ 平均勤続年数 17年

## 消 防 団 階 級 別 年 齢 表

(人)

階級 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
	18 歳 ~ 20 歳								
21 歳 ~ 25 歳							1		1
26 歳 ~ 30 歳							6	1	6
31 歳 ~ 35 歳							12	1	12
36 歳 ~ 40 歳					1		25	2	26
41 歳 ~ 45 歳							20	3	20
46 歳 ~ 50 歳					1	7	15	3	23
51 歳 ~ 55 歳		1		1	1	11	18	5	32
56 歳 ~ 60 歳	1	1	1	2	3	8	9	2	25
61 歳 ~ 65 歳		1	3	4	3	13	8	2	32
66 歳 ~ 70 歳			3	1		4			8
71 歳 ~ 75 歳			1						1
76 歳 ~ 80 歳									
女性団員					1	3	15	19	
計	1	3	8	8	9	43	114		186

※ 平均年齢 50歳

## 消 防 団 員 出 動 状 況

(人)

種別 所属	火災	風水害等 の災害	捜索	その他の 災害	演習・ 訓練	広報・ 指導	特別警戒	研修等	計
団 本 部	37			1	17	154		87	296
中 央 分 団	35				108	38		40	221
野 幌 分 団	31				66	55	13	82	247
北 部 分 団	12				124	43		28	207
大 麻 分 団	36			5	72	42	9	23	187
上 江 別 分 団	31				92	48		41	212
東 野 幌 分 団	18				86	33	6	65	208
豊 幌 分 団					114	28		62	204
東 部 分 団	13				84	49		50	196
計	213			6	763	490	28	478	1,978

# 消 防 の 沿 革

## 江別消防のあゆみと主な災害等

年号	月	消防のあゆみ	月	災害と主な火災	月	江別市のできごと
明治30			8	・江別村市街川沿・根本旅館より出火、全市街130余戸の内、105戸を焼失		・江別分署が江別警察署に昇格
	31	12				・戸長役場庁舎新築移転
			9	・石狩川水系各河川氾濫、全域浸水、農耕地被害甚大。江別地区の半分以上埋没		
			7	・野幌停車場焼失		・江別村農会設置
	33					・大河原文蔵、最初の道議選に当選
	34	5		・暴風雨により石狩川及び各支川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
			9			
			7	・暴風雨により千歳川及び江別川氾濫		・江別市場設立
	37					
	38		5	・野幌兵村共有樹林地火災		
	39		12	・江別橋左岸以北10数戸焼失し第2部消防手河田庄三郎殉職する		・2級町村制施行 ・江別村役場庁舎新築移転
			4	・融雪、豪雨の為石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・1級町村制施行
	42					
			8	・暴風雨により石狩川及び田畑の浸水流出		
	44					
大正2			8	・暴風雨の為豊平川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
	8		5	・融雪異常暖気の為、石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・榎本農場小作地開放
			7	・降雨の為石狩川及び千歳川氾濫		・石狩大橋竣工開通
	9	3				
			7			
	10	12				・野幌原始林特別天然記念物の指定をうける
	11	8		・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・夕張川切替新水路着工(昭和11年完工)
			8			
	12		4	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
	15					・石狩川の漁業に対する新規許可を停止
昭和2						
	1					
	4					・開村50年記念祝典挙行
	3		7	・市内5条2丁目より出火、15戸焼失	6	・飛鳥山公認競馬場開場
			9	・豪雨の為千歳川堤防決壊		
	5	3		・石狩川、千歳川堤防決壊氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・夕張鉄道の開通 ・野幌兵村義勇救護隊創設
			8		4	・北海道無尽会社江別出張所設立
	6		4	・融雪、異常低気圧の為幌向川、千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		
			5	・融雪、異常低気圧の為石狩川、千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の流出		

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和7			8	・豪雨の為、石狩川各支川堤防決壊氾濫により江別市街 1.5m 浸水、田畑 4.123ha 浸水		
8			5	・融雪豪雨の為石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別地域の大半が被害を受ける		
9	7	・組頭以下 81 名、札幌市に於いて梨本宮殿下の御臨閲を受ける ・野幌火災予防組合が夜警番詰所を設置	1	・旧屯田兵第 2 大隊本部建物焼失		・江別太火防組合結成
10	12	・第 1 部に自動車ポンプ（フォードV 8）購入配置	10	・市内 6 条 7 丁目仏壇灯明より出火、13 棟 23 戸焼失		
11	10	・第 3 部に自動車ポンプ（フォードV 8）購入配置 ・第 2 部に自動車ポンプ購入配置	8	・豪雨により千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道電灯株式会社江別火力発電所設立
12	10	・江別高等女学校に於いて防護団発団式	9	・豪雨により野津幌川排水氾濫		・陸軍大演習が行われ、天皇陛下野幌原始林大沢に行幸
14	4	・消防組と防護団を統合し、警防団とする（団員 321 名）。4 部制を 4 分団制とする	4	・12 戸に於いて住宅 3 棟 3 戸焼失、2 名焼死		
15		・第 2 分団消防部に自動車ポンプ購入配置				
16	1	・規律訓練優秀賞を受ける				
18	6	・警防団に常備制を敷き、機関員を常備団員とする	3	・上江別 4 戸 2 棟焼失、母児 2 名焼死		・江別町競馬会この年をもって終止符
20	10	・役場内に消防常備本部設置	4	・豪雨により幌向川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	7	・王子製紙工場が王子航空機工場に転換
21	6	・4 分団制を 3 分団制とし、団員 230 名。1 分団を 3 分団と合併中央分団。2 分団を野幌分団、4 分団を北部分団にそれぞれ改める。分団に消防部、予防部の 2 部を置く ・江別太私設消防団結成	7	・豪雨により石狩川、夕張川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・米空軍戦闘機江別上空飛来、王子航空機工場、江別発電所などに爆撃を加える
22	2	・本部に団員召集サイレン及び風速計設置	11	・市内建具工場 2 棟焼失		
	4	・消防団令制定公布	11	・暴風雨により石狩川及び各支川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・王子航空機工場が北日本製紙工場になり操業開始
	7	・警防団を消防団に改組、団員 205 名	3	・元野幌煉瓦工場より出火、工場 1 棟、社宅 1 棟 5 戸焼失		
23	3	・消防組織法の制定により自治体消防機構となる	4	・融雪により石狩川、幌向川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・江別、札幌（五番館）間に中央バス、雁来経由で定期バス運行
	10	・大麻私設消防団結成	7	・機関車の煙突の飛び火により 5 棟焼失		・江別保健所開設
24	4	・消防委員会設置 ・江別町火災予防条例、危険物取締条例制定	5	・上江別、煙突の飛び火により 3 棟焼失		・開基 70 周年記念祝典
			6	・豊幌、煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		・国立札幌病院江別診療所（現江別市立病院）開設
			2	角山、煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		・都市計画法により元江別の一部を緑町、一番町と改める
			6	・角山、取り灰の不始末により住宅 3 棟焼失		



年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 24			7	・集中豪雨により野津幌川氾濫、道路の決壊、橋梁破壊流出、田畑浸水		
25	4	・江別消防団員定員条例改正 150 名とする	9	・野幌機農高校実験室より出火		・町政だより発刊
26	4	・対雁自衛消防隊結成 ・江別太自衛消防隊結成	8	・豪雨により野津幌川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・江別太資材工場 3 棟焼失		・江別町野幌出張所を開設
			3	・札幌刑務所角山作業所 5 棟焼失		・江別商工会議所設立
			7	・萩ヶ岡醸造製油会社より出火 18 棟焼失		・国立江別診療所、町に移管、町立病院となる (現江別市立病院)
			9	・野幌高校道教員研修所焼失 7 名焼死		
27	2	・札幌市と消防の相互応援に関する協定の締結	11	・元野幌窯業工場より出火、2 棟焼失	7	・住民登録法施行第 1 回人口調査
28	3	・江別地区警察署と相互応援協定締結	5	・市内 3 条 3 丁目より出火、227 棟焼失、275 世帯罹災、罹災人員 1,305 名、焼損面積 6,136 坪		
29	5	・全町 30 地区に自主的に火災予防組合結成 ・市制施行により江別市消防団に改称	4	・融雪により旧豊平川排水氾濫、家屋及び田畑の浸水流失	6	・市民の自治組織として江別市火防衛生組合を結成する
	7	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正	5	・暴風により家屋全壊、半壊多数	7	・市制施行、江別市となる
	11	・火災予防組合の結成に伴い消防団予防部を解消すると共に分団の消防部長制を廃止し副分団長及び副班長制とする	9	・台風 15 号により家屋全壊、半壊。農作物の 90%壊滅		
30	1	・警察法の改正に伴い、新たに江別警察署と相互応援協定の締結	4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出	8	・全道青年大会開催
	10	・消防専用電話を各分団に架設				
	12	・殉職消防組員、河田庄三郎氏の 50 回忌を成田山光雲寺に於いて行う				
31	8	・東西野幌自衛消防隊結成	2	・道立野幌高等学校宿舍 230 坪焼失	11	・野幌駅開設 ・上江別浄水場完成し江別市街地の給水開始
			4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流失		
			5	・元野幌窯業会社より出火、16 棟焼失		
			9	・豪雨により野津幌川氾濫、田畑冠水 650ha		
32	5	北部分団 30 周年記念式典	5	・上江別放火により 4 棟焼失	12	・公益質屋開設
	7	・市役所階上に於いて危険物講習会、試験実施	9	・豪雨により排水、河川氾濫、家屋及び田畑の浸水 950ha		・上江別に母子寮完成
	10	・市水道に消火栓敷設、市内に 36 基敷設する				
33	6	・団本部に火災専用電話敷設			4	・野幌屯田兵第 2 中隊本部、北海道有形文化財に指定
34	1	・出初め式に於ける最後の登梯式を行う	2	・道立江別高等学校火災	5	・市内バス運行開始(江別駅前～対雁市営住宅)
	10	・消防本部及び消防署設置				
35					12	・農事有線放送開始
36	10	・消防無線電話(中短波)新設	2	・緑町建設会社寮より出火、2 棟焼失、2 名焼死		・江別駅前国道、道々中央通り舗装完了

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 36			7	・集中豪雨により石狩川各支川溢水氾濫、家屋及び田畑の浸水、1,000戸		
37			1	・美原の住宅で出火、2棟焼失、4名焼死		
	8	・119番の設置 ・江別太石狩河畔にて全道防災訓練実施	8	・台風9・10号の襲来により家屋、田畑浸水1,135戸、罹災者6,487人	3 8 10	・交通安全都市を宣言 ・北海道水防訓練行われる(石狩川・夕張川合流点) ・しょう紅熱市内に広がる
38	4	・江別市火災予防条例の改正				
39	3	・江別市消防団員定員条例改正100名とする	3	・緑町アパート物置で子供の火遊びから4名焼死	8	・道営大麻団地起工式
	5	・火災保険号(ポンプ車)、日本損害保険協会より寄贈される				
	10	・江別市消防創設65周年記念式典			10	・市制10周年記念式典
40	3	・江別市消防職員賞じゅつ金条例の制定	9	・台風23・24号の襲来により石狩川各支川溢水、氾濫、家屋浸水、田畑冠水		
	4	・美原自衛消防隊結成				
	7	・江別市消防団員定員条例改正110名とする	10	・野幌町の駅前商店街飲食店で出火、郵便局など2棟焼失		・野幌原始林、森林公園造成着工
	8	・消防団に日本消防協会より竿頭綬を授与される				
41	4	・豊幌自衛消防隊結成			1	・道立消防学校完成
	9	・消防署野幌出張所及び消防団野幌分団庁舎新築移転(野幌町30番地)	8	・集中豪雨により石狩川支川溢水、家屋浸水、田畑冠水400ha	6 12	・下水道事業着工 ・市役所新庁舎高砂町に完成
42	8	・石狩管内水防訓練大会を篠津川で実施			9	・都市等級により江別市は5級に指定される
43	7	・救急車1台購入、救急業務開始	5	・十勝沖地震(震度4)により家屋一部破損58戸	5 6	・江別市旗を制定 ・江別市開基90年、市制施行15周年記念式典
	10	・消防本部(署)の庁舎新築移転(高砂町24番地)跡地に消防署中央出張所を新設4出張所制となる			10 11	・新石狩大橋完成 ・野幌屯田兵村記念館完成
		・消防本部庁舎屋上に消防監視用テレビ設置				
	11	・消防団に北海道知事より表彰旗を授与される				
	12	・消防署大麻出張所、消防団大麻分団庁舎(市出張所庁舎と併設)を新築(大麻中町26番地)、4出張所制				
44	7	・岩見沢市・広島町と消防の相互応援に関する協定の締結	2	・異常降雪により国道12号交通渋滞バス、一般車500台、約2,500人が被害を受ける	1 11	・市民憲章制定 ・江別市火防衛生組合解散
45	4	・篠津自衛消防隊結成	3	・異常降雪により交通渋滞388人救出	4	・江別太の一部を東光町と改める ・江別太火防組合解散
			4	・融雪により内水湛水、床下63戸、田畑浸水300ha		
			5	・融雪により内水湛水、床上27戸、床下48戸、田畑浸水1,078ha、道路冠水10.5km	8	・中央通り買い物公園実施
46	12	・上江別自衛消防隊結成				
	3	・江別市消防団員定員条例改正125名とする				
		・救急車1台、日野医院より寄贈される				

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
昭和 46	4	・江別市消防団上江別分団増設、5分団制			5	・重兵衛渡し渡船廃止	
	6	・消防用無線電話(超短波)新設			9	・榎本公園に対雁100年記念碑完成	
	10	・東野幌自衛消防隊結成			11	・市の花「菊」、市の木「ナナカマド」を制定	
	11	・消防署北部出張所、消防団北部分団庁舎新築移転(緑町東2丁目)					
	12	・消防署上江別出張所、消防団上江別分団庁舎新築(現上江別南町1番地25)、5出張所制					
	47	4	・八幡自衛消防隊結成			1	・東野幌青少年会館完成
		6	・広報車1台、日本消防協会より寄贈される				
			・南空知消防組合と消防の相互応援に関する協定の締結				
		7	・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定締結	9	・集中豪雨により門水湛水の為床上6戸、畑作被害18,2ha、床下24戸、道路4ヶ所		
		10	・東光自衛消防隊結成				
	11	・消防本部機構改革3課6係制とする					
	12	・石狩北部地区消防事務組合消防の相互応援に関する協定の締結			12	・ゴミ粉碎処理工場運転開始	
48	1	・江別市消防本部に救助隊設置			3	・江別終末処理場完成	
	5	・野幌森林自衛消防隊結成			6	・西野幌の一部を文京台と改める	
		・火災保険号、日本損害保険協会より寄贈される					
10	・豊幌自治会より豊幌消防会館を寄贈される						
49	1	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正する	4	・低気圧の影響により家屋等の全半壊、一部破損	8	・第1回市民まつり実施	
	10	・消防本部(署)、江別電業所及び江別警察署間に専用電話を設置			10	・史跡駅通の松の伐採	
50	10	・江別市消防団員定員条例改正150名とする	8	・豪雨により石狩川決壊、湛水、各支川溢水床上259戸、田畑浸水906ha	10	・野幌老人憩いの家開設	
		・消防団東野幌分団を増設、新築移転(東野幌本町7番地)6分団制となる		・台風6号の襲来により床上241戸、田畑冠水1,649ha、土木被害24ヶ所、死者1名	12	・夜間急病診療所開設	
		・消防署東野幌出張所、消防団東野幌分団庁舎新築(東野幌本町7番地)、6出張所制					
	・江別市火災予防条例の全部改正						
51	3	・消防監視用テレビ廃止			11	・石狩大橋架替工事完成	
		・江別市消防協力者要綱を定める					
	・広報車、拝野武二氏より寄贈される						
52	3	・江別太自衛消防隊解散	6	・幸町木材店より出火、7棟焼失	5	・米国グレンシャム市と姉妹都市提携	
	4	・消防本部救助隊を消防署に配置替					
53	2	・消防救急指令装置導入、運用開始			7	・江別市開基100年 ・高知県土佐市と友好都市提携	
54	10	・江別消防創設80周年記念式典	10	・台風20号の襲来により門水湛水、床上1戸、床下23戸、田畑浸水130ha	3	・大麻体育館開設	
					11	・市街地東光通り東光橋完成	
55	3	・救急車(3B型)日本損害保険協会より寄贈される					

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 55	4	・消防ポンプ自動車(CD-I型)織田武雄氏他より寄贈される	4	・上江別に於いて子供の火遊びから2戸1棟焼失、5名焼死		
	7	・指令車(J-36型)拝野武二氏より寄贈される			7	・江別市防災訓練行われる
56	8	・集中豪雨、台風15号の災害に際し、市内緑町第2自治会長より、感謝状授与される	2	・東野幌に於いて住宅1棟焼失、3名焼死	3	・道立総合運動公園が西野幌下学田に設置決定
	11	・集中豪雨、台風15号の災害活動により、江別市長から表彰状を授与される	8	・集中豪雨により石狩川、各支川溢水氾濫、堤防決壊の為全壊壊4戸、床上浸水440戸、田畑浸冠水5,509ha	4	・江別市立病院江別高等看護学院閉院
	12	・集中豪雨、台風15号の災害による防災功勞として北海道知事より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される		・台風15号の襲来により門水湛水、床上浸水91戸、田畑冠水1,805ha		・ごみ焼却処理場運轉開始
57	2	・ライオンズクラブ国際協会331-A地区より、水害救助用ボートの寄贈を受ける				
	2	・江別市萩ヶ岡に消防待機宿舎を建設				
58	3	・消防庁長官より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される	3	・浦河沖地震発生(震度4)、軽傷1名、土木被害1,000万円	4	・水道庁舎完成
	8	・緊急給水用ろ水器、日本消防協会より寄贈される(市水道部に配置)			8	・北海道水防訓練行われる(石狩川河畔)
	9	・昭和56年集中豪雨、15号台風の災害による防災功勞として、内閣総理大臣より表彰状及び功勞賞を授与される				
59	5	・日赤江別市地区より救命ボートの寄贈を受ける				
	10	・日本道路公団札幌建設局と、救急業務に関する協定を締結				
60	11	・岩見沢地区消防事務組合と、消防の相互応援に関する協定書の全部改正				
	11	・札幌市、岩見沢市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正			11	・北海道縦貫自動車道、札幌～岩見沢31.9キロ開通
	3	・消防用無線電話基地局の増設、石狩町、石狩北部地区消防事務組合及び南空知地区消防組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正			1	・江別市立病院外来新棟完成
61	4	・消防本部(署)の機構改革、本部3課6係、消防署7係6出張所			2	・勤労者研修センター完成
	11	・消防署中央出張所、消防団中央分団庁舎新築移転(市内3条1丁目)			4	・野幌若葉小学校開校
62	8	・電源照明用資器材搬送車、日本消防協会より寄贈される			4	・大麻高校開校
	10	・水槽付消防ポンプ自動車、日本損害保険協会より寄贈される			7	・北海道水防訓練行われる(石狩川大橋左岸)
63	10	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				・市制施行30周年
	4	・江別市消防団員定員条例改正175名			4	・北光小学校開校
64	5	・江別市消防団豊幌分団増設、7分団制	7	・見晴台店舗兼住宅1棟焼失、母子3名焼死	7	・森林キャンプ場完成

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和61	8	・仮設訓練塔1棟を消防訓練場に設置する	11	・文京台緑町大学学生食堂新築工事現場火災、焼死2名、負傷者9名	11 12	・J R高砂駅の開業 ・保健センター完成
62 63	3 4	・化学消防ポンプ自動車購入 ・消防署の機構改革6出張所制を3出張所制とする ・江別市消防団員定員条例改正187名 ・消防団副団長の2名制			4 3 5	・文京台小学校開校 ・北海道情報大学着工 ・江別市コミュニティセンター着工
	6 9	・消防団東部分団増設、8分団制 ・消防庁舎建設準備委員会設置	9	・東野幌町に於いてガス爆発により住宅1棟2戸全壊、半径130mの範囲内の57棟に被害		
平成元	3 4	・消防庁舎建設委員会を設置 ・江別市消防職員定数条例改正102名			4 8 9	・北海道情報大学開学 ・江別市情報図書館オープン ・江別市コミュニティセンターオープン
	2	4	・江別市消防職員定数条例改正104名 ・消防署の機構改革、副署長制を2課制とする		10 3 6	・第44回国民体育大会開催 ・江別市葬斎場オープン ・第二大麻体育館オープン ・江別市情報図書館と市内中学校の情報オンライン化となる
	3	3	・札幌市、広島町、岩見沢地区(組)、石狩北部地区(組)、及び南空知(組)との消防相互応援協定廃止		10 3 4	・国勢調査 ・北電江別発電所廃所 ・市郷土資料館オープン
		4	・江別市消防職員定数条例改正105名 ・北海道広域消防相互応援協定締結 ・江北地区自衛消防隊結成		11	・S C C国際交流センター完成 ・人口10万人達成
	4	7 8	・消防本部庁舎着工 ・女性消防団員10名採用		2 4	・道立食品加工研究センターオープン ・ふれあいワークセンターオープン
		4	・江別市消防職員定数条例改正107名 ・江別市消防団員定員条例改正192名 ・機構改革により、通信指令室、救助隊を設ける			
		8	・女性消防団員5名採用(計15名) ・第21回全国消防救助技術大会出場(千葉市)		12	・「季節の道」夏のゾーン完成
	5	10 2 3	・消防本部庁舎完成 ・指揮車購入 ・消防本部庁舎新築移転(野幌代々木町80番地)、緊急情報システム運用開始			
		4	・救助工作車、旭川ガス(株)より寄贈される ・江別市消防団員定員条例改正197名		4 7	・中央中学校開校 ・陶芸の里「セラミックアートセンター」着工
		8	・第22回全国消防救助技術大会出場(福岡市)		10	・王子・神崎製紙合併、「新王子製紙」となる

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と				
平成5	10	・災害弱者緊急通報システム稼動運用開始 ・米国市長会、消防本部庁舎視察 ・女性消防団員7名採用(欠員2名)計20名	7	・石狩川水難事故、中学生男子3名水死	10	・市役所、第2・第4土曜日完全閉庁開始				
	11	・第9回全国婦人消防操法大会出場(横浜市) ・消防団副団長3名制			11	・江別市花き栽培技術指導センターオープン				
	6	2			・(社)江別市及び三郡医師会と、高速自動車国道等の救急・救助活動に関する協定書締結	6	4	・江別市ガラス工芸館オープン		
	3	・はしご付き消防自動車(38m級)購入			10		・市制施行40周年を迎える ・人口11万人突破 ・市役所、完全週休2日制スタート			
	4	・江別市消防職員定数条例改正111名 ・江別市消防団員定員条例改正200名			12		・陶芸の里「セラミックアートセンター」オープン ・勤労者総合福祉センターオープン			
	6	・第46回北海道消防大会開催			1		・訪問看護ステーションオープン			
	7	・北海道広域消防相互応援協定の一部改正			4		・いきいきセンターオープン ・屯田資料館オープン			
	10	・女性消防団員3名採用、計23名 ・連絡車、防火管理者連絡協議会と危険物安全協会より寄贈される			10		・国勢調査により人口11万5千人突破			
	7	2			・消防ポンプ自動車(CD-II)購入し、中央分団に配置		12	・野幌グリーンモール完成		
	4	・江別市消防職員定数条例改正113名			2		・第3回石狩川サミット開催			
	5	・救急救命士2名誕生			3		・野幌小学校新校舎完成 ・江別高校新校舎完成			
	6	・消防署大麻出張所庁舎移転新築着工			7		・第34回北海道障害者スポーツ大会開催			
	9	・消防ポンプ自動車(CD-I)日本損害保険協会より寄贈される			10		・第45回全道身体障害者福祉大会開催			
	10	・巨大地震・災害対策海外研修視察(消防長参加) ・江別市救急業務高度化推進協議会設立			12		・市情報公開条例施行			
	8	2			・消防署大麻出張所庁舎新築移転(大麻元町192番地3)、業務を開始する ・消防ポンプ自動車(CD-I)を大麻分団に配置する		6	・森林公園行方不明者捜索(トド山口駐車場)	4	・(財)江別市在宅福祉サービス公社事業開始 ・いずみ野小学校開校
	4	・江別市消防職員定数条例改正115名								
	6	・江別市消防団に北海道消防協会会長より表彰旗並びに表彰状授与される								
	10	・江別市消防職員委員会設置される								
	12	・高規格救急自動車、(社)日本自動車工業会より寄贈される								
	9	2			・高規格救急自動車運用を開始する					
4	・江別市消防職員定数条例改正118名									

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成9	5	・札幌圏防災関係機関総合防災訓練に参加			4	・知的障害者の入所施設(えべつ朋友荘)開所	
	7	・緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加			10	・えぼあホール(市民文化ホール)・大麻公民館オープン	
	12	・大型水槽車(更新)購入				・「ディサービスセンターあかしや」開所	
	10	1	・救護活動資器材搬送手動車愛称決定「救太くん」			1	・江別市農協創立50周年
		3	・自治体消防50周年記念式典参加			2	・痴呆性老人等支援連絡会議設立 ・災害時における郵便局と江別市の協力に関する協定調印
		4	・消防職員定数条例改正 121名			4	・野幌農協創立50周年 ・岩田政勝氏名誉市民章贈呈される
		5	・事務改善検討委員会設立			8	・土佐市友好都市20周年記念式典 ・人口12万人突破
		6	・北海道消防協会札幌地方支部消防総合演習				
		7	・全国消防長会北海道支部警防・救急事務研究会				
		9	・災害支援車購入				
		10	・江別消防創設100年記念事業				
		10	・携帯電話分散受信方式119番受信運用開始			12	・新「市立総合病院」オープン
	11	2	・高規格救急自動車購入				
		3	・高規格救急自動車2台目運用開始				
		4	・消防職員定数条例改正125名 ・機構改革、消防署の指導課を消防課に、警備課を救急救助課に改める			4	・市長・市議選挙
		6	・北海道防災航空隊員派遣	7	・道立大麻高校火災	6	・江別市ホームページ開設
		8	・第28回消防救助技術訓練大会出場(横浜市)	9	・台風18号により4,700万円の被害	8	・江別市総合防災訓練行われる
		10	・第84回全国消防長会法制委員会開催				
		12	・水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型更新				
	12	2	・消防団豊幌分団庁舎新築移転 ・江別市消防団に日本消防協会より表彰旗並びに表彰状を授与される			2	・豊幌地区センターオープン
	3	・有珠山噴火により北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 述べ62隊143名			3	・資源物の分別収集開始	
	4	・江別市消防職員定数条例改正128名 ・北海道消防学校教官派遣 ・消防本部に参事(防災担当)の職を設置			4	・介護保険制度スタート	
	7	・高規格救急車移動配備開始 ・北海道操法訓練大会出場(東野幌分団)					
	10	・江別市消防総合防災訓練 ・小型動力ポンプ積載車(703号車)江別出張所に更新配備			10	・野幌鉄南地区住民票等証明交付窓口開設	
					12	・いきいきセンターわかくさオープン ・保健センター若草町に移転	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 13	1	・消防力の基準(消防庁告示第1号により)改正			2	・J R 高砂駅新駅舎・歩道橋完成
	4	・江別市消防職員定数条例改正130名			3	・5農協が合併して道央農協誕生
	9	・小型動力ポンプ積載車(705号車)野幌出張所に更新配備			3	・江別市立学校給食センター完成
					7	・新ごみ処理施設建設工事着工
					7	・江別市防災(水防)訓練行われる
					8	・北海道林木育種場旧庁舎が文化庁の登録有形文化財に登録される
						・中央中学校男子バレーボール部全国大会優勝
					12	・J R 大麻駅バリアフリー化工事完成
	14				3	・「防災あんしんマップ」全世帯に配布
	4	・北海道消防学校教官派遣			4	・完全学校週5日制始まる
	6	・石狩川水防公開演習参加(長沼町)			10	・江別河川防災ステーションオープン
					12	・市環境クリーンセンター「くるりん」稼働
	15				4	・市長市議選挙
	2	・高規格救急自動車(3台目)導入			5	・特別職等の専用車廃止による多用途車両(低公害車)導入
9	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災に伴う北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 延べ3隊24名			8	・土佐市・江別市友好都市提携25周年式典	
10	・出光興産(株)北海道製油所災害予防対策支援活動に伴う、北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣延べ8隊40名				・全国中学校体育大会水泳競技大会開催	
11	・全国消防長会北海道支部予防委員会開催					
16			9	・台風18号による強風の為軽傷者5名、街路樹等の倒木1,862本、建物等の一部損壊190件、農業被害、被害総額47,245万円		
	4	・メディカルコントロール体制構築により、救急救命士による包括的指示下での除細動開始			3	・江別市中心市街地活性化基本計画策定
	8	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災活動に対し、消防庁長官より防災功労者表彰を授与される			4	・第5次江別市総合計画スタート
17					9	・市制施行50周年記念式典
	4	・江別市他石狩管内の一部消防本部と基地の札幌手稲溪仁会病院間でドクターヘリ暫定共同運用開始			10	・防災連携消防訓練実施(東野幌本町:パルタウンのっぽろシティハウス)
						・家庭ごみ収集の有料化開始
						・「江別市のレンガ」が北海道遺産に選定
					3	・市制施行50周年記念事業の一環として、「新江別市史」刊行
						・「江別市地域福祉計画」策定
						・江別の顔づくり事業「都心地区整備基本計画」策定
					10	・防災連携消防訓練実施(大麻沢町サンゴールドビル)

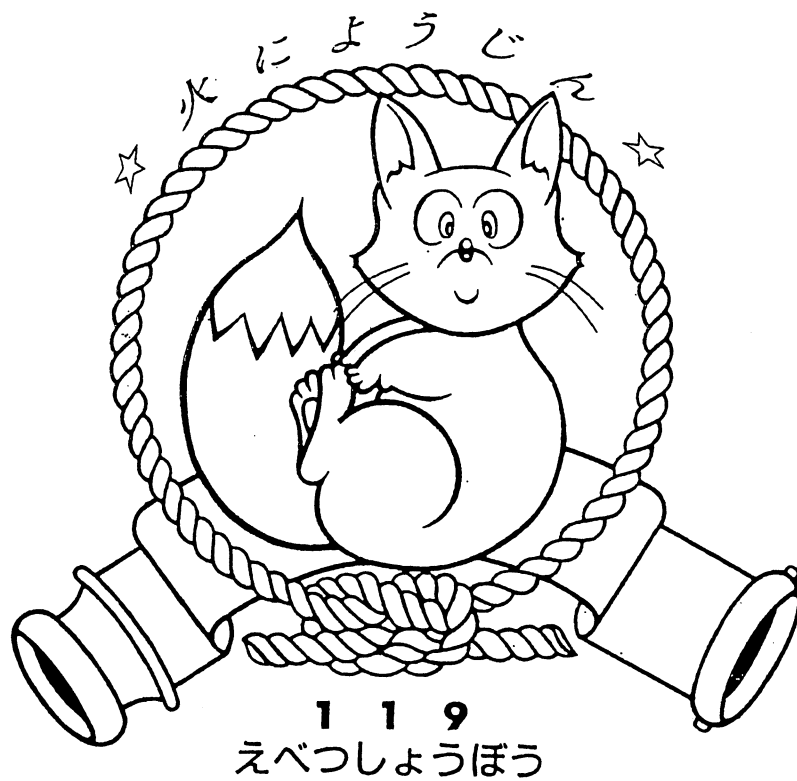


年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江別市のできごと	
平成 17	12	・(財)日本消防協会の助成を受け、婦人防火クラブ等の民間防火組織の資器材整備の為、AED(自動体外式除細動器)一式を購入。	12	・市内野幌松並町に於いて、住宅1棟焼失、焼死者2名	11	・江別市に於いて道内初の「認知症高齢者向けグループホームの短期入所者事業利用特区」で構造改革特区に認定 ・江別市の地域再生計画『『ソーシャル・エンタープライズの拠点・メッカ』づくりを通じた地域活力コミュニティの再生』が地域再生法に基づき認定	
	18		1	・落雪事故多発 死者1名	3	・江別市行政改革大綱見直し	
			2	・救急・救助出動総数21件	9	・市民活動センターオープン	
	19	10	・消防顕彰碑消防本部庁舎移設に伴う工事完了 ・緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加2名			10	・防災連携消防訓練実施(江別市コミュニティセンター周辺)
		12	・具体的指示下での薬剤投与が可能な救急救命士の運用開始			12	・江別市・新篠津村合併協議会設置
	20	6	・江別・野幌・大麻出張所の各タンク車へAED積載配備 ・PA連携本運用開始			2	・江別市・新篠津村合併協議会開始
		3	・「北海道消防広域化推進計画」が策定された		・硫化水素ガスによる事故多発 死者2名・負傷者3名	4	・市長・市議選挙
	21	5	・第1回石狩管内5消防本部消防広域化等実務担当者会議開催(以降、2回開催)			8	・広域消防水難連携訓練(江別河川防災ステーション前 千歳川)
		7	・北海道洞爺湖サミット開催に伴う消防特別警戒要員派遣(予防2名・警防10名)			11	・JR野幌駅鉄道高架工事着工 ・野幌駅周辺地区活性化協議会による「野幌駅周辺地区活性化計画(案)」作成
		8	・第1回石狩管内5消防本部における消防広域化並びに消防指令業務等の共同化検討委員会開催(以降、4回開催) ・第1回石狩管内5消防本部消防指令業務等の共同化作業部会開催(以降、2回開催)			8	・北海道防災総合訓練実施(江別高校跡地)
		9	・第1回石狩管内5消防本部消防広域化作業部会開催(以降、5回開催)			9	・江別市・新篠津村合併協議会廃止
		10	・石狩北部地区消防事務組合消防本部と指令業務等の共同化検討会議開催(以降、4回開催)				
	12	・水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)107号車導入					
	21				2	・市内4大学、江別商工会議所、江別市が包括連携・協力に関する協定を締結	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と			
平成 21	6	・高機能消防通信指令システム 実施設計委託	12	・角山建設資材置き場より 出 火、3 棟焼失	4	・「第5次江別市総合計画」後 期基本計画を策定			
	8	・水槽付消防ポンプ自動車 103号車導入 ・住宅用火災警報器設置推進本 部運用開始			7	・江別市自治基本条例スター ト			
	22	1			・災害対応特殊救急自動車 301号車導入	9	・ねんりんピック将棋大会、江 別で開催  ・江別市防災連携訓練 (消防学校)		
	2	・有限会社トンデンファームよ りAED(自動体外式除細動器) トレーニング用マネキン等を寄 贈される			8	・J A道央 野菜選別施設 1棟 焼失	8	・常陸宮妃殿下ご臨席のもと、 第29回赤十字北海道大会開催	
	5	・江別市環境整備事業組合よ りAED(自動体外式除細動器) 1台寄贈される			9		9	・江別市防災訓練実施 (北翔大学)	
	6	・高機能消防指令システム (Ⅱ型)整備工事契約締結			10		10	・第19回国勢調査が行われ、 江別市において戦後初の人口 減少 ・鈴木章・北大名誉教授、ノー ベル化学賞受賞	
	12	・有限会社丸山産業よりAED (自動体外式除細動器)1台寄 贈される			23	1	・記録的な大雪により落雪事故続 発 死者1名	2	鈴木章・北大名誉教授へ江別 市特別栄誉賞贈呈
	1	有限会社トンデンファームより 連絡車として軽自動車1台寄贈 される			3	・東日本大震災発生により、緊 急消防援助隊北海道隊として救 急隊員2名、救助工作車1台と 救助隊員5名を宮城県石巻地区 に派遣 ・高機能消防指令システム運用 開始	3	・東日本大震災発生により被 災地へ職員派遣、物的支援を 行う(～12月まで)  ・第三中学校統合により江北 中学校廃校	
	4	・緊急消防援助隊北海道隊とし て救助工作車1台と救助隊員5 名を宮城県石巻地区に派遣			6	・機構改革、消防本部に指令課 を新設し、警防課に救急高度化 担当(主幹及び主査)を配置 ・住宅用火災警報器完全義務化 スタート			

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成 23			8	・集中豪雨により萩ヶ岡床上浸水 1戸、他市内道路冠水箇所多数 発生			
	10	・全国消防長会より東日本大震 災に際して緊急消防援助隊派遣 で表彰を受ける			10	・江別市防災連携訓練 (市立上江別小学校) ・野幌鉄道高架に伴い新野幌 駅開業	
	11	・総務大臣より東日本大震災に 際して緊急消防援助隊派遣で表 彰を受ける ・J A道央より高規格救急車1台 寄贈される	12	・市内弥生町に於いて、住宅1棟 焼失、焼死者1名			
	24	7	・連絡車606号車更新	9	・市内で自動販売機などへの放火 が相次ぐ	3	・中原通(鉄西線～鉄東線間) が開通 ・大麻3遺跡出土の土偶が道 指定有形文化財に指定
		11	・消防団東野幌分団新築移転	12	・市内大麻中町にて異臭騒ぎ、住 民66名が避難	6	・J R野幌駅舎完成(6月)
						8	・江別出身の右代啓祐さん、 ロンドンオリンピック(陸上 競技・男子十種競技)に日本 代表で出場、順位は20位

# 防火シンボルマーク



昭和63年10月15日江別市消防本部の防火シンボルマークが制定されました。

これからは、僕も皆様方同様火災予防に努め市民のアイドルとして、親しまれるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。